29-308

少數隊之戰術

[illegible]著

[illegible]

帝國圖書館藏

明治三四 [illegible]

緒言

本書ノ目的ハ小隊長、分隊長等ノ小部隊指揮ノ研究用ニ供スルニアリ

故ニ下級指揮官トシテ識得シアラサルヘカラサル戰術諸原則ノ概要ヲ述ヘ併セテ之カ應用法ヲ示セリ高等帥兵ニ關スルコトハ本書ノ範圍外ナルヲ以テ勉メテ省略シ唯タ小部隊指揮ノ連繫上多少其一端ヲ知リアルヲ要スルモノノミ簡單ニ摘載シタリ

小部隊之戰術

目次

頁數

第一章　幹部ノ感銘……一

第一款　幹部ハ職責ニ應シ確然自立シテ他ノ補助ニ倚頼セサルコト……一

第二款　幹部ハ責任ヲ重ンシ罪ヲ事物ニ諉スヘカラス……二

第三款　名譽ヲ重ンスルコト……四

第四款　獨斷ハ可ナリ但シ軍紀以外ニ超軼スヘカラス……五

第五款　爲サザルヲ得ス疑スルハ嚴禁ナリ……十
第六款　幹部ノ一擧一動ハ部下ノ模範
タリ……十三
第二章　行軍……十五
第一款　總論……十五
第二款　行軍ノ種類……十六
其一　敵ノ遠近ニ由ル區別……十七
其二　速度及ヒ方法ニ由ル區別……十八
其三　時刻ニ由ル區別……二十三
其四　行軍方向ニ隨フ區別……二十七
第三款　行軍ノ實施……二十八
第四款　行軍間ノ捜索、警戒、勤務……三十六
其一　總論……三十六
捜索勤務●獨立騎兵●前衛騎兵●前兵騎兵
●警戒勤務……三十六
其二　前衛……四十三
前衛ノ兵力編組區分
其三　歩兵尖兵ノ任務及ヒ動作……四十六
尖兵ノ行進●捜索ノ考慮●敵ノ發見●村落
ノ捜索●隘路ノ捜索●微烟火藥ノ關係●暗
夜ノ捜索●尖兵ノ果斷……四十三
其四　騎兵尖兵ノ任務及ヒ動作……六十四
騎兵ノ觸接●騎兵速力ノ利用●尖兵ノ休憩
●白兵ノ使用

第三章　行軍間ノ斥候幷ニ尖兵ノ動作

ニ關スル應用……七十
○斥候出發ニ當リテノ處置……七十二
○斥候ハ運動ノ遲緩スル如キ所置ハ避ケサルヘカラス……七十五
○斥候隘路ノ通過……七十六
○斥候開豁地ノ通過……七十八
○斥候大森林ノ捜索……七十九
○森林中ノ連絡……八十一
○斥候ノ潛匿……八十三
○敵ニ先シテ發見セラレ危險ノ切迫ヲ射撃ヲ以テ報ス……八十四
○側面ヨリノ視察……八十六
○開豁地ノ通過……八十七
○隘路前ノ捜索……八十八
○高地ノ捜索……八十八
○蔭蔽地ノ行進……九十
○斥候敵兵ヲ本隊ノ反對側ニ誘致シテ本隊ヲ掩護ス……九十三
○敵ノ小斥候ニ迷ハサレ本來ノ任務ヲ忘ルヘカラス……九十三
○斥候不意ノ衝突……九十五

○尖兵村落ノ捜索……九十六
○尖兵長ハ今後如何ナル決心ヲ以テ
如何ナル處置ヲナスヤ……百三
○斥候派遣ニ當リ小隊長ノ命令……百九
○徒渉場ノ偵察……百十一
○敵ニ發見セラレス蔭蔽シテ微烟火藥
ノ利ヲ發揚ス……百十二
○負傷者ノ訊問……百十五
○散兵線兩翼ノ警戒……百十九
○小隊ノ散開……百十九
○斥候ノ戰鬪參與……百二十二

○地形偵察ノ報告……百二十四
○追躡斥候……百二十四
○第一ノ任務ヲ果シ第二ノ任務ニ赴ク……百二十五
○側面ニ向フ小隊ノ轉進……百二十八
○尖兵射撃ヲ受ク……百二十九
○尖兵ノ報告……百三十
○隘路ノ進出……百三十二

小部隊之戰鬪

第一章 幹部ノ感銘

第一欵 幹部ハ職責ニ應シ確然自立シテ他ノ補助ニ倚賴セサルヨト

凡ソ集合團體ノ確固ナランコトヲ欲セハ先ツ其集合團體ヲ形造ル所ノ各部分カ堅確ナランコトヲ要スルナリ假令ハ煉瓦石ヲ積ンテ墻壁ヲ構成スルニ當リ個々ノ煉瓦石カ堅固ナラサレハ全體カ堅固ナル墻壁ヲ成ス能ハサルカ如シ卽チ軍ハ軍隊及ヒ諸部團ノ集合ヨリナリ

軍隊及ヒ諸部團モ亦各細部局ヨリナルモノナルカ故ニ
全軍ノ獨立堅確ヲ欲セハ各部團體カ先ツ獨立確固ナル
ヲ要スルハ明瞭ナル理數ニアラスヤ從ツテ各部團隊ノ
長タル各幹部ハ宜シク心力ヲ職責ノ在ル所ニ竭シ他ノ
補助ニ倚賴セス確然自立シテ其任ヲ全フセサルヘカラ
ス若シ否ラサルトキハ卽チ軍ヲ組成スル分子脆弱トナ
リ所謂蟻孔ヨリ大堤モ崩潰スルノ諺ヲ演出シ軍ノ協同
團結ハ望ムヘカラサルナリ

第二欵　幹部ハ責任ヲ重ンシ罪ヲ事物ニ

說スヘカラス

罪ヲ有形上ノ事物ニ歸シ自己ノ責任ヲ免レントスルハ
世上往々現演セラルル事實ニシテ甚タ忌ムヘキ事タル
ハ勿論殊ニ軍務ニ於テハ決シテ許スヘカラサル大罪ト
謂フヘキナリ凡ソ形式ナルモノハ運用ヲ待ツモノニシ
テ運用ハ實ニ其人ニ存スルナリ例令ハ如何ナル形式ヲ
以テ如何ナル眞地形ニ動作スルモ運用其妙ヲ得サレハ
更ニ効果ヲ奏セサルヘク之ニ反シ運用其當ヲ得レハ如
何ナル形式モ亦著シク殊効ヲ現ハスヘシ必竟スルニ形
式上ノ事物カ不眞ナルノ故ヲ以テ運用其妙ヲ得サリシ
ト云フカ如キモノハ是レ卽チ自己ノ責任ヲ竭サス罪ヲ
形式ニ諉スルモノニシテ軍隊ノ害毒是ヨリ甚タシキハ

ナシ

第三欵　名譽ヲ重ンスルコト

軍人ハ富貴利祿ノ爲メニ其職ニ服スルモノニアラス苟モ生死ヲ顧ミス生ヲ棄テテ義ヲ取リ身ヲ殺シテ仁ヲ成シ國家ニ報スルハ至誠ノ致ス所ニシテ其品位高ク其職ヤ名譽ナリ至誠至忠ヲ基トシ名譽ヲ重ンスルニアラサレハ心身廉潔ナラス一旦名譽ヲ棄ツルトキハ精神汚劣トナリ義勇心頓ミニ落ツヘシ名譽ハ軍人精神ヲ維持スル無形ノ連鎖ナリ又勇氣膽力ヲ助ケ怯懦心ヲ掃ヒ除ク無形ノ刺激劑ナリ幹部タルモノ宜シク先ツ自ラ名譽ヲ

保持シ又部下ノ爲メ名譽ヲ發揚セシメンコトヲ勉ムヘシ

第四欵　獨斷ハ可ナリ但シ軍紀以外ニ超軼スヘカラス

戰時ノ軍務ハ多端ナリ一人ニテ之ヲ遂行スルコト能ハス必ス分業ノ必要ヲ生ス卽チ各級指揮官ハ其階級ニ應シテ分業シ其分業ニ對シテハ自カラ責ヲ負ヒ獨斷事ニ從ハサルヘカラス凡ソ戰鬪ハ千種萬別變狀窮リナシ此變狀ニ處スルコトヲ豫メ指示規定シ置クモ果シテ能ク之カ適切ニ變狀ニ際會シテ行ハルヤ否ヤ確實ナラサ

ルノミナラス適々以テ其規定ハ業務ヲ繁雑ナラシムルノ患アリ故ニ業務ヲ單簡ニシ一定不變ノ方針ノミヲ示シ其他ノ變狀ニ處スル細部ハ宜シク責任ヲ負フタル各級指揮官ニ獨斷ヲ許スノ必要アリ一例セハ前衛カ敵ト衝突シタリトセンカ此場合ニ於テ前衛司令官ノ確實ニ施爲スルヲ要スル業務ハ何ソヤ曰ク本隊ニ戰鬪準備ヲ取ルノ時間ヲ與フルニアリ此時間ヲ與フル爲メニハ攻勢動作ヲ以テスルカ或ハ守勢動作ヲ以テスルカ等ハ前衛司令官宜シク獨斷處置シテ差支ヘナキカ如シ此ニ於テカ獨斷ハ或ル場合ニ於テ屢々必要ナルヘシ然レトモ獨斷其度ヲ過クレハ專恣ニ陷ルナリ此專恣ヲ豫

防スルカ爲メニハ軍紀ヲ緊縮シ任務ノ範圍ヲ明ニスルヲ要ス苟モ範圍内ニ於ケル行動ハ自由ナルヘク各自ノ技倆ヲ充分ニ發揚スヘキナリ假令ハ中隊長カ前哨ヲ指揮スルニ當リ自己ノ任セル警戒線區域内ニ於テ警戒ニ關スル諸件ハ前哨中隊長ノ職權トシテ自由獨立ニ區署シ前哨ノ任ヲ全フスヘキモ今敵襲ニ當リ中隊長ハ其前哨中隊ノ位置ヲ固守スヘキ命令ヲ前哨司令官ヨリ受ケアルモノトセンカ如何ニ他ニ良好ノ陣地アリト雖此命令ニ負キ自己ノ欲スル陣地ニ轉進シ若クハ退却スル如キハ是レ卽チ軍紀ヲ破リ任務ノ範圍外ニ行動スルモノニシテ遂ニ前哨司令官ノ計畫ヲシテ之カ爲メ水泡ニ歸

セシメ全軍ノ大患ヲ來スコトアルヘシ故ニ軍ノ軍タル眞價ヲ發揚センニハ宜シク軍紀ノ範圍内ニ於テ力ヲ盡クスニアラサレハ能ハス若シ否ラサルトキハ軍ハ假令ヒ存在スルモ眞ノ軍ト云フ能ハス所謂烏合集團タルニ過キサルヘシ

以上ノ要求ヲ完全ナラシメンニハ命令ヲ愼重スルコト緊要ナリ命令ヲ下スニ當リテハ先ツ如何程ノ要求マテハ受令者カ堪ヘ得ルヤ否ヤヲ顧慮セサルヘカラス假令ハ今強行軍ヲ命センントスルニ天候、地形、體力ノ如何ヲ斟酌シテ堪ヘ得ヘキ程度ヲ以テ命スルヲ要ス若シ此等ノ顧慮ナナサス堪ヘ得ヘカラサル程度ヲ以テ要求スルトキハ無謀ノ命令ニシテ決シテ愼重ヲ加ヘタルモノト云フ能ハス命令ノ威信ヲ損スルナリ

又命令中ニ於テ要求スル放任干渉ノ節調程度ハ受令者ノ力量ニ由テ大ニ斟酌セサルヘカラス徒ラニ難ヲ責ムルハ軍紀ヲ破ル基ナリ假令ハ兵卒ヨリ成ル小斥候ニ命スルニ將校斥候カ爲スヘキ任務ノ如キコトヲ以テスルハ是レ其人ノ力量ヲ顧慮セサル不適當ノ命令タリ故ニ其ノ人ノ力量ニ從ツテ難易ノ程度ヲ定メ而シテ一旦發令以テ要求ヲ命シタル以上ハ其服行ニ關シ毫モ寬假ズルコトナク其實行ヲ嚴格ナラシメ之ヲ遂行セシムルヲ要ス、苟モ漫リニ其人ノ堪ヘ得サルコト或ハ伎倆ノ程度

ニ超過スルコトヲ命シ其服行ニ至リテ困却スルヲ責ムルハ反ツテ下令者ノ罪タリ

第五欵

爲ササルト遅疑スルハ嚴禁ナリ

兵ハ機ナリ戰ハ變ナリ臨機果斷ハ幹部ノ最モ必要トスル元素ナリ優柔不斷ハ戰鬪ノ嚴禁物ナリ苟モ決心シテ實行シ或ハ又實行ニ着手シタル以上ハ之ヲ果敢斷行スルノ氣概アレハ假令ヒ其實行カ少々誤ヲ冒シアリトスルモ猶ホ最初ヨリ遲疑決行セス又實行ニ至ルモ跋巡スルモノニ比シテ遙ニ優レリ凡ソ萬事ハ實行シタル上ナラテハ其可否ヲ判別スル能ハス諺ニモ曰ク思フヨリハ

產ムカ易シト實ニ然リ決心斷行セハ初メニ憂慮シタル程ノ難ナク反ツテ奏効容易ナルコトアルヘシ之ニ反シ徒ラニ疑心迷惑實行セサルトキハ遂ニ結果ヲ收ムル時期ナカルヘシ古語ニ曰ク兵ハ拙速ヲ貴ヒ巧遲ヲ好マストハ蓋シ皆前記ノ主意ニ外ナラサルナリ夫レ兵ハ機動ニ由テ勝ヲ制シ得ヘシ苟モ機ヲ失スルトキハ如何ニ方法カ善巧ナルモ奏効覺束ナシ之ニ反シ其方法ハ惡シクトモ果斷敏捷神速ニ好機ニ投スルトキハ概ネ奏功疑ナシ蓋シ戰鬪ノ要決タル機先ノ利ヲ制シ他ノ不利ヲ償ヘハナリ一例セハ敵ヲ攻擊スルニ當リ敵ノ兵力陣地等ノ判斷ニ躊躇シ決心スル所ナク時ヲ移ス間ニ敵ハ益々陣地

ヲ堅固ニシ又其間ニ増加兵モ到着シ遂ニ萬全ノ策ヲ以テ攻撃スルモ既ニ時機ヲ失シ反テ敗ヲ取ルニ至ルヘシ之ニ反シ敵兵未タ陣地構成ヲ終ラス増加兵ノ到着以前ニ於テ猛烈果敢ニ攻撃ヲ断行セハ其攻撃方法ハ多少拙ナルニモセヨ又誤リタル所アリタルニモセヨ時機ノ幸福ト先制志氣ノ優勢トニ由テ奏効スルニ至ルヘシ

果敢断行ノ必要ナルコト以上ノ如シ但シ一點注意スヘキハ輕忽ノ断行ニ陥ラサルコトナリ往々果斷ト云フコトカ一歩ヲ誤レハ輕忽トセラルルナリ故ニ結論ハ断行ノ前ニハ考慮ヲ要ス考慮ハ疑迷ニ流ルヘカラスト云フニアリ

第六欵　幹部ノ一擧一動ハ部下ノ模範タリ

幹部カ各其部下ニ對シテハ指揮官タルコトハ無論ナレトモ唯タ指揮官トシテ部下ヲ指揮スルノミニテハ幹部ノ任務ハ完カラサルナリ夫レ兵卒ハ教育サレテ始メテ完全ノ軍人トナリ幹部ノ指揮ニ應シテ戰爭ヲナシ得ルナリ此教育ハ即チ幹部タルモノノ職任ニシテ教官タルナリ此ニ於テ其教官タルモノカ智育德育萬事ヲ薫陶スルハ決シテ唯タ机上ノ學術教授ノミニ止マラス自ラ模範トナリ所謂上ノ流ハ下之ヲ酌ミ己レ正シケレハ其影正シト云フ諺ノ如ク教官ハ己レヲ正シテ其影ヲ部下ニ

寫シ上流ヲ清淨ナラシメテ下流ノ清水ニ浴セシムルノ主旨ヲ以テ部下ニ臨マサルヘカラス此幹部タルモノノ模範ハ有形上ノ教育指導ニ最モ効力アルモノニシテ殊ニ劒電彈雨中勝敗ノ將サニ岐レントスル瞬間ニ於テ部下ノ視線ハ悉ク幹部ノ一擧一動ニ注キツツアルヲ以テ此時ニ於ケル模範ハ其部下ニ對シテ實ニ唯一ノ磁針ナリ歩兵操典第二百八十二曰ク戰鬪喧噪ノ中ニ在リテ氣力及ヒ思慮ヲ失ハントシタルトキ、兵卒ハ其所屬將校ヲ仰視スルヲ要ス云々ト實ニ兵卒劇戰中ニ於テ其思慮ヲ失ハントスルトキ之ヲ適當ニ指導スルハ唯タ幹部ノ模範ニ由テスルアルノミ勇將ノ下ニ弱卒ナシトノ諺ハ實ニ上長ノ模範カ士卒ヲシテ勇ナラシムルニアリ卽チ幹部タルモノハ慧眼ヲ以テ監視ヲ正シクシ嚴正侵スヘカラサルノ容貌ヲ以テ部下ニ臨ミ部下ヲシテ彼ノ人ニ從ヒ居レハ安心ナリト信服セシムルヲ要ス

第二章　行軍

第一款　總論

行軍トハ軍隊一ノ目的地ニ達セン爲メ戰場外ニ於テ行フ諸運動ノ總稱ナリ抑モ軍ヲ活動セシムルモノハ行軍ニシテ軍隊ノ戰鬪ニ屬スル事業ノ大部分ヲナスモノナリ行軍實施ノ確實ナルハ戰鬪ノ結果ヲシテ良好ナラシ

ム ル原因ナリ

行軍ノ術タルヤ尋常ノ形勢ニ在リテハ務メテ軍隊ノ力ヲ貯ヘ切要ノ時機ニ臨ンテハ非常ノ効程ヲ顯ハシ得ルニアリ

行軍ノ要決トシテ遵守スヘキモノ三アリ曰ク

一、行軍ヲ疾速ナラシムルコト

二、軍隊ノ體力ヲ保存スルコト

三、軍隊ノ安全ヲ保持スルコト

第二款　行軍ノ種類

行軍ハ敵ノ遠近、速度ノ遲速、時刻ノ如何等ニ由テ種々ニ

區別セラルルモノトス

其一　敵ノ遠近ニ由ル區別

敵ヲ距ル遠近ニ從ツテ旅次行軍ト戰備行軍トニ大別ス

旅次行軍　旅次行軍ハ休養ヲ主トシ時期ヲ違ヘス定メラレタル地點ニ到着スルヲ目的トス故ニ通常警戒法ヲ設クルノ必要ナク縱隊ハ數部ニ分レテ各異ノ道路ヲ行進セシメ或ハ各個ニ一道路ヨリ進行セシム其各異ノ道路ヲ用ユルトキハ歩兵ハ最モ便利ナル捷路ヲ撰ミ騎兵砲兵ハ少シク迂遠ナルモ良好ナル道路ヲ撰ムヘシ之ニ反シ諸兵種一道ヲ行軍スルトキハ各兵種時ヲ異ニシテ出發ス卽チ徒歩兵ハ早ク乘馬兵ハ晩ク出發スヘキナ

リ

戰備行軍　戰備行軍ハ敵ノ近傍ニ於テスルモノナレハ百般ノ顧慮ヲ棄テヽ專ラ戰鬪ノ準備ヲ主トスヘシ之カ爲メ各部隊ヲ集結シテ戰術上ノ區分ヲナシ行軍序列ヲ整備シ必要ノ場合ニ在リテハ縱隊ノ深長ヲ減縮スヘシ其取ルヘキ道路及ヒ出發時刻ハ專ラ戰鬪ノ顧慮ニ從ヒ之ヲ定メ敵ニ脅威セラルル方面ニハ必要ニ應シテ行軍ノ警戒法ヲ設ケ以テ敵襲ヲ防キ且ツ我展開ヲ掩護セサルヘカラス

其二　速度及ヒ方法ニ由ル區別

速度及ヒ方法ニ依テ常行軍、急行軍、强行軍及ヒ輸送行軍ニ區別ス

常行軍　此行軍ハ敵ニ遠キ場合ニ於テ用ユルモノニシテ諸兵ヲ連合セル一縱隊ノ常行軍ニ於テハ天候及ヒ道路ノ狀況中等ナルトキ一日ノ行程二十四吉米(約六里)內外トシ成ルヘク每四日ノ後ニ一日ノ休憩ヲ與フルヲ可トス斯ノ如キ行軍ニ於テハ軍隊ノ行軍力ヲ增大スルノ利益アリ卽チ漸次行軍ニ習熟シ軟弱ノモノモ亦强壯トナルヘシ而シテ其休日ハ被服、裝具及ヒ蹄鐵等ヲ修理整頓スルニ用ユルモノトス

急行軍　急行軍ハ作戰ノ目的ニ由テ日々尋常ノ行程ヨリ著大ナル行程ヲ滯留ナク數日間連續シテ行軍スル

ナ云フ

大部隊ナ以テスル急行軍ニ於テ一日ノ行程ハ通常九里乃至十一里トス抑モ出戰歩兵カ二十四時間ニ七里半乃至八里以上ノ行程ヲ行進スルハ既ニ其易シトセサル所ナリ況ンヤ此以上ノ行程ヲ數日間繼續スルコトハ實ニ難ク現員ヲ減スルコト夥多ニ至ルヘシ故ニ減員ヲ生スルコトナク急行軍ヲ行ハンニハ最大限五六日間ニシテ且ツ縱隊ヲ分チテ數道ヲ取ラシメ以テ行進宿營給養ノ便ヲ計リ又各道ノ縱隊間ニハ十分ノ距離ヲ存シ以テ恰モ獨立部隊ノ如ク其行進ヲシテ自由ナラシムヘシ

小部隊ニ在ッテハ運動給養等萬事簡單便利ナルヲ以テ

少時日間ノ急行軍ニ在リテハ時トシテ著大ノ行軍行程ヲ要求スルコトアリ

强行軍

强行軍ハ一日ノ行軍ヲ定ムルコトナク所要ナレハ晝夜兼行シテ一擧ニ著大ノ道路ヲ行クノ稱ナリ其目的タルヤ成ルヘク大部ノ兵ヲ戰鬪ニ參與セシムルニアリ又一時某地點マテ急速退却スルカ如キ例外ノ場合ニ用ユ然レトモ此行軍ハ非常ノ場合ニ於テ緊要已ムヲ得サルニアラサレハ之ヲ行ハサルモノトス是レ兵隊ノ疲勞過大ナルノミナラス此行軍ニ因テ生シタル軍紀ノ解弛ハ其弊後日ニ及フノ恐レアルヲ以テナリ且ツ又兵隊ハ强行軍ヲナシ指示サレタル地ニ到着シタル後ト

雖尚ホ直ニ行軍或ハ戰鬪ヲ爲シ得ルノ體力ヲ備ヘサルヘカラサルヲ以テ大部隊ヲ以テスル此種ノ行軍ハ二十四時間乃至三十六時間以上ニ及フ能ハス

小部隊ニ在リテハ急行軍ニ於テ述ヘタル如ク運動宿營給養ノ利便多キヲ以テ意外ニ著大ノ行程ヲ要求シ得ルコトアリ

通常此種行軍ニ於ケル行軍効程ハ行軍中數回長時間(四時乃至六時)ノ休止ヲ行ヒ此間人馬ヲシテ喫食及ヒ睡眠セシメ以テ歩兵ハ二十四時間ニ五十吉米(十二里半騎兵ハ八十吉米(二十里)ヲ行クモノトス

注意　急行軍ト云ヒ強行軍ト云フモ唯タ其行程ニ長短アルノミニシテ歩度ニ異同アルコトナシ人若シ行軍ノ速度ヲ以テ歩度ノ速サト同一視スルトキハ大ナル過誤ト云フヘシ

輸送行軍　輸送行軍トハ鐵道、船舶又ハ車輛ヲ以テ軍隊ヲ輸送スルモノヲ云フ但シ小部隊ハ馬車又ハ人力車ヲ以テ輸送スルコトヲ得ヘシト雖多數ノ車輛ヲ要スル場合ニアラサレハ用ユヘカラス

其三　時刻ニ由ル區別

時刻モ亦行軍ノ爲メ利害ヲ呈スルモノトス其晝間ナルト夜間ナルトニ從ヒ晝行軍、夜行軍ニ區別ス

夜行軍ノ弊害一ツニシテ足ラスト雖其主ナルモノハ左

ノ如シ

一、睡眠及ヒ休憩ノ爲メ必要ナル時間ヲ廢スルヲ以テ
人馬ノ疲勞極メテ多シ

二、闇裏行軍ノ規律ヲ保チ難シ

三、歩行困難ニシテ道路ヲ誤リ易シ

四、延伸増加ス

五、行軍速度遲緩ナリ

夜行軍ヲ行フ場合ハ概ネ左ノ如シ

一、炎熱ノ時ニ於テ避暑ノ爲メ特ニ晝行ニ代フルトキ

二、急行軍若クハ強行軍ヲ爲ストキ

三、敗績シタル軍隊カ勝者ノ追撃ヲ免レントスルトキ

四、優勢ナル敵ノ攻撃ヲ避ケントスルトキ

五、敵ノ砲銃火ニ對シ被害ヲ減センカ爲メ本戰ノ前夜
夜暗ニ乘シ進ンテ攻撃準備ニ至便ナル地點ヲ占領
セントス欲スルトキ

六、夜暗ニ乘シ急襲ヲ行ハント欲スルトキ

夜行軍ヲナストキノ注意左ノ如シ

一、睡眠ヲ欠キテ疲勞セル兵卒ハ至嚴ノ軍紀ヲ以テ之
ヲ檢束スルヲ要ス

二、各部隊間ノ行軍距離ヲ廢シ悉ク密接連續セシメ以
テ縱隊ノ集結ヲ保持スルコト肝要ナリ

三、道路ノ岐分點ニハ標兵ヲ置キ道ヲ誤ルコトナカラ

シム

四、各部團ノ間ニ交通兵ヲ置キ連絡ヲ確實ナラシムルコト

五、道路ノ障碍ヲ除キ或ハ之ヲ繞回シ以テ兵卒疲勞ノ原因タル撞着ノ患ヲ除クコト

六、休止間ハ諸兵道路ヲ離ルコトヲ禁シ以テ離散ヲ防クコト

七、休止ハ屢々之ヲ行フヘシト雖極メテ其時間ヲ短縮シ諸兵ノ假眠ヲ豫防スルコト

八、再ヒ行進ヲ起ス前ニハ睡眠ノ兵ヲ遺留セサルコトニ注意スヘシ午前四時以前ニ於テ殊ニ然リトス

九、必要ノ場合ニ當リ點火スル爲メ提燈或ハ松明ノ用意アルヲ要ス

十、敵ニ對シテ顧慮アルトキハ喧噪ヲ禁シ且ツ前方ニ有力ナル部隊ヲ以テ警戒スルヲ要ス

喧噪ヲ防ク手段トシテハ吹煙、談話ヲ禁シ馬ニ枚ヲ啣マシメ、刀劍及ヒ彈藥盒ノ音、足音等ニ注意スルヲ要ス

其四　行軍方向ニ隨フ區別

行軍ノ方向ニ從ツテ前進行(敵ニ向ツテ行進スルモノ)、退却行(敵ヲ背ニシテ行進スルモノ)、側敵行(敵ヲ我行進方向ノ側面ニ有スルモノ)ノ別アリ

第三款　行軍ノ實施

行軍軍紀ヲ至嚴ニシ被服裝具ヲ監視シ人馬ノ給養及ヒ衛生ニ注意スルハ卽チ行軍力ヲ保持シ且ツ之ヲ增加スルニ最モ有効ノ方法ナリ

行軍軍紀ヲ嚴正ナラシメンニハ概ネ左ノ諸件ニ注意スヘシ

一、各人ハ常ニ其定位ニアルヘシ一兵タモ許可ヲ得スシテ隊列ヲ離レ水流井泉ニ駐リ或ハ人家ニ入ルヘカラス

然レトモ適度ノ飮水ハ其時機ヲ誤ラス全隊ニ之ヲ爲サシムルコト必要ナルヲ以テ適當ノ時機ニ之カ

處置ヲナスヘシ

卽チ飮水ヲ命スルトキハ或ハ停止シ或ハ行進中兵卒ヲシテ路傍ノ貯水器ヨリ水ヲ汲マシム然レトモ決シテ秩序ヲ紊ス可ラス汲水ノ爲メ伍列ヲ去ルヘキモノハ速ニ歸リ且ツ途上ニ於テ水ヲ飮ムヘシ又多飮ト急飮トヲ愼ミ小量宛飮ムヘキモノトス

豫メ乘馬將校ヲ派シ人民ヲ促シ路側ニ水桶ヲ備ヘシムルノ處置ヲナセハ甚タ便利ナリ

二、各人恣ニ服裝ヲ紊シ又裝具中ニ定例外ノ物件ヲ收容スルヲ許サス

他ニ妨ナキトキハ服裝ヲ寬裕ナラシムル爲メ時機

ヲ誤ラス全隊ニ令スヘシ例令ハ炎暑ノ候ニ於テ卸
ヲ脫セシムルカ如シ
三、縱隊中、各隊先頭ノ歩度ハ部隊長常ニ之ヲ規定シ各
部隊成ルヘク同一ナルヘシ
四、部隊間ニ適宜ノ距離ヲ保チ遽止急走ノ害ヲ豫防ス
ルコト
五、道路廣キトキハ常ニ其一側ヲ空虛ニシ他隊ノ通過
ニ便ナラシムヘシ狹キ道路ニ在リテモ亦必ス其一
側ヲ明ケ以テ單獨騎兵ノ通過ヲ妨碍セサルヲ要ス
道路ノ中央險惡ナルカ或ハ炎熱ノトキニ在リテハ
行軍縱隊ヲ道路ノ兩側ニ分チ中央ヲ空虛ニスルヲ

可トス
長途行軍ニ於テ徒歩兵ノ靴傷、馬匹ノ鞍傷及ヒ脚傷ハ列
兵ヲ減少スルヲ而シテ此減員ノ多少ヲ以テ行軍ニ用ヒタル
注意ノ淺深ヲ知リ且ツ其軍隊ノ價値ヲトスルニ足ルモ
ノトス故ニ徒歩兵、乘馬兵及ヒ馬匹ニ就キ行軍中絶エス
監察シ休憩中及ヒ舍營ニ於テ彼等自ラ適當ノ保護ヲ爲
スヤ否ヤヲ監察シ且ツ凡テ此等ノ事ヲ忽ニスルモノヲ
嚴罰スルハ中隊長ノ責任ナリ凡ソ此ノ如キ豫防法ヲ施
スノ外、行軍中減員ヲ防クノ術アラサルナリ
水筒ニ蓄フヘキ飲料ハ珈琲、酢入ノ水、茶等ヲ可トス
靴ハ柔ニ且ツ恰好ニシテ新製ニ過クヘカラス足ハ之ヲ

清潔ニシ肉刺堅皮及ヒ長キ爪ヲ除キ柔軟ノ足布ヲ用ヒ極メテ薄ク足ヲ包ムヘシ

能ク負擔スルニ適シ且ツ能ク裝着セル背嚢裝具諸般ノ欠點及ヒ行進中落伍ヲ惹起ス所ノ諸源因ハ宿舍ヲ發セサル前ニ之ヲ除キ若シ行軍中始メテ欠點ヲ感セシトキハ次ノ休止ヲ待ツテ直ニ之ヲ除カサルヘカラス

一度落伍シ且ツ疲勞セシ者ハ再ヒ所屬隊ニ復歸スルコト困難ナリ而シテ其落伍ノ數多キニ從ヒ縱隊ハ延伸シ離散シ且ツ隊次亂ルルニ至ルヘシ

士氣旺盛ニシテ體力強健ナル軍隊ハ能ク行軍ノ勞苦ニ耐ヘ以テ速ニ遠キニ達スルヲ得ヘシ

抑モ士氣ノ旺盛ナルハ體力ノ衰弱ヲ補フヲ得ヘシト雖體力強健ナラサレハ從ツテ士氣モ旺盛ナラサルヲ常トス而シテ體力ノ強弱ハ專ラ被服裝具殊ニ靴ノ適否、糧食ノ多寡、良否並ニ宿營法ノ如何ニ關ス

故ニ苟モ兵ニ長タル者ハ部下ノ體力ヲ強健ニシ且ツ其士氣ヲ旺盛ナラシムルコトニ就テハ常ニ意ヲ用ユヘシ

若シ之ヲ忽ニスルトキハ則チ行軍力ヲ萎靡スルニ至ルヘシ

行軍序列ハ主トシテ開戰ニ際シ軍隊ヲ使用スルノ順序ニ適合セシムルニ在リ而シテ其序列ハ警戒隊ニ在リテハ其司令官、本隊ニ在リテハ全隊指揮官之ヲ規定ス

安眠ハ體力ヲ保存回復スルニ必須ノモノタルヲ以テ拂曉以前ニ出發セシムルハ成ルヘク爲ササルヲ可トス而シテ其出發時刻ノ撰定ハ作戰ノ目的、縱隊ノ大小、軍隊ノ勞否、季候ノ寒暑、天候ノ如何等ヲ顧慮酌量スルモノトス」

發程後若干分時ノ後少時間ノ休憩ヲ行ヒ其後ノ休憩ハ行程ノ遠近、天候ノ善惡其他疲勞ノ程度等ニ應シテ之ヲ規定スルモノトス

休憩時間モ亦時ノ景況ニ從ヒ一定スル能ハスト雖主トシテ喫食ノ爲メニスルモノ(大休止)ハ通常三十分乃至一時間ニシテ其他少時ノ休憩(小休止)ハ約十分乃至二十分トス而シテ小休止ハ通常毎二時間ニ於テ之ヲ行ヒ大休止ハ路程ノ大半ヲ經過シタル後ニ於テ一回之ヲ行フヲ常トス然レトモ強行軍等ニ於テ數回ノ大休止ヲ行フヲ要スルトキハ二乃至五時間毎ニ於テスルヲ可トス

休憩地ノ撰定ハ季節及ヒ天候ニ從ヒ兩便、飲水、蔭影ノ便ヲ顧慮シ風雨ノ蔽庇等ニ注意スヘシ

休憩ニ移ルニハ徒ニ繁雜ノ動作ヲナシテ休憩時間ヲ減スル等ノコトナキヲ要ス若シ時機ニ妨ケナク且ツ其道路ヲ閉塞スルノ患ナキトキハ停止及ヒ銃ノ交叉若クハ下馬ハ行軍縱隊ノ隊形ニ於テ路傍若クハ路上ニ於テスヘシ

第四款　行軍間ノ捜索、警戒勤務

其一　總論

敵ノ近傍ニ於テ行軍スル軍隊ハ決シテ單一ノ縱隊トナリテ悉ク相合シテ行進スル能ハス是レ敵兵行途ノ近傍ニ潜伏シ又ハ來進シ突如トシテ我ヲ急襲スルニ於テハ我整然トシテ之ニ抗スルノ餘裕ナケレハナリ

此憂ナク防ク爲メ捜索幷ニ警戒勤務ノ必要生スルナリ抑モ捜索トハ敵狀ヲ明ニスルノ謂ニシテ警戒ハ急襲ヲ拒支スル保安ノ謂ナリ蓋シ捜索ノ至レルハ警戒ノ嚴ナル所以ニシテ捜索ト警戒ハ互ニ並立スヘキモノナリ

捜索ハ敵ノ遠近、我部隊ノ大小殊ニ騎兵ノ數其他地形等

ニ依リ其任務ノ範圍ニ差異アリ卽チ大部隊ニ在リテ敵ト遠隔シ在ルトキニ於ケル捜索勤務ハ通常軍ニ屬スル騎兵旅團ナシテ其任ニ當ラシムルモノニシテ此騎兵ハ遠ク軍ノ前方ニ進ミ背後ニアル軍隊ノ運動ニ制限セラルルコトナク廣ク敵情ヲ捜索シ且ツ同時ニ我軍ノ運動ヲ掩護ス

斯ノ如ク廣キ捜索ニ任スル騎兵ノ有無ニ關セス各師團等ハ更ニ其所屬ノ騎兵ヲ以テ各自ノ捜索ニ任スルモノトス此捜索ハ主トシテ師團等ニ於ケル直接警戒ノ爲メニシテ戰鬪間ニ在リテハ絶ヘス我側面ヲ警戒シ敵ノ側面ヲ捜索スルモノトス斯ノ如キ狹キ範圍ノ捜索ニ任ス

獨立騎兵
前衛騎兵
前兵騎兵

ル騎兵ハ縱隊司令官ノ直轄ニ屬スルトキハ之ヲ獨立騎兵ト稱シ又前衛司令官ノ指揮ニ屬スルトキハ之ヲ前衛騎兵ト稱ス

尙ホ一層狹キ範圍ノ捜索ニ任スルモノハ前兵騎兵ニシテ此騎兵ハ前兵長ニ屬シ其主ナル目的ハ歩兵ノ捜索ヲシテ簡約ナラシムルニアリ

以上ノ如ク大ナル騎兵ヲ有スル軍ニ在リテハ三梯線ノ捜索法ヲ用ユ卽チ第一線ハ軍ヨリ出ス所ノ騎兵旅團、第二線ハ師團ヨリ出ス獨立騎兵(前衛騎兵)、第三線ハ前兵騎兵ナリ今之レヲ圖解ニスレハ左ノ如シ

第一線捜索面

軍ヨリ派遣セラルル騎兵旅團之ニ任ス

第二線
- 第一師團ノ所屬騎兵之ニ任ス
- (獨立騎兵或ハ前衛騎兵)

第三線
- 前兵騎兵

第一師團行軍縱隊

第二線
- 第二師團ノ所屬騎兵之ニ任ス
- (獨立騎兵或ハ前衛騎兵)

第三線
- 前兵騎兵

第二師團行軍縱隊

支隊ノ如キ騎兵ノ數少ナルトキハ固ヨリ右ノ如キ三梯線ノ捜索ヲ爲シ得サルノミナラス前兵ニモ充分ナル騎兵ヲ附屬シ得サルコト多シ而シテ此少數ナル騎兵ヲ支

隊長直轄トシテ獨立騎兵ノ加ク使用スルカ或ハ前衛司令官ニ一任シ前衛騎兵トスルカハ時ノ形勢ニ從フモノトス

警戒勤務ノ爲メニハ敵ノ現在スル方向ニ警戒部隊ヲ出シ以テ本隊ノ戰鬪準備ヲナシ或ハ戰ヲ避クルノ餘裕アラシム

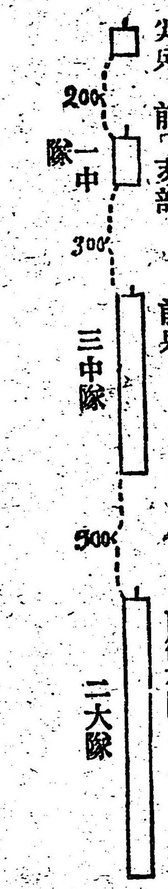
此部隊ハ其掩護スヘキ縱隊ノ前方、後方、側方ニ在ルニ從ヒ前衛、後衛、側衛ト稱ス

騎兵ハ前陳ノ如ク捜索ヲ爲スト同時ニ所屬縱隊ノ警戒第一線ヲ成形シ又步兵ハ步度ノ緩慢ナル爲メ捜索勤務ハ騎兵ノ如ク自由ナラスト雖抵抗ノ威力ハ遙ニ騎兵ニ優ルヲ以テ警戒ニ適ス蓋シ警戒ハ安全ヲ圖ル爲メ屢々武器ヲ使用シテ抵抗スルノ必要アレハナリ

警戒ノ部署ハ大部隊ニ在リテハ敵ニ近ツクニ應シテ逐次小ナル數個ノ部隊ニ區分シテ重層配備ノ法ニ從フ然レトモ小部隊ニ在リテハ僅ニ其警戒ニ要スル最少ノ兵員ヲ枝分スルニ過キサルナリ

梯次セル各警戒部隊ハ逐次其直後部隊ノ進退ニ從ヒ其安寧ヲ保持スヘク又後方部隊ハ各其直前部隊ニ連絡シ之ヲ支持スヘキモノトス

大部隊ノ警戒部署例令ハ歩兵一聯隊ヲ主力トセル前衛ノ區分左ノ如シ



小部隊ノ警戒部署例令ハ歩兵一小隊ノ如キハ別ニ前衛ヲ設ケス若干ノ尖兵ヲ出スノミ

前衛ノ任務

前衛ノ兵力組織區分

其二　前衛

前進スル軍隊(概ネ長延ノ隊形ヲ以テ道路ニ由ル)ハ展開ノ爲メ若干ノ時間ヲ要ス故ニ前衛ノ任務ハ本隊ニ展開ノ時間ヲ與ヘ且ツ僅少ノ敵ヲ驅逐シ障碍物ヲ除去シ以テ本隊ノ行進ヲシテ澁滯ナカラシムルニアリ其他前衛ハ不意ナル敵ノ本攻撃ニ對シ本隊ヲ掩護スルコト最モ緊要ナリ

前衛ノ兵力ハ時ノ形勢、地形、縱隊ノ大小ニ從ヒ變化一ナラスト雖大約歩兵ノ六分一ヨリ三分一ノ間ニ變化スト而シテ之ニ所要ノ騎、砲、工兵等ヲ付ス

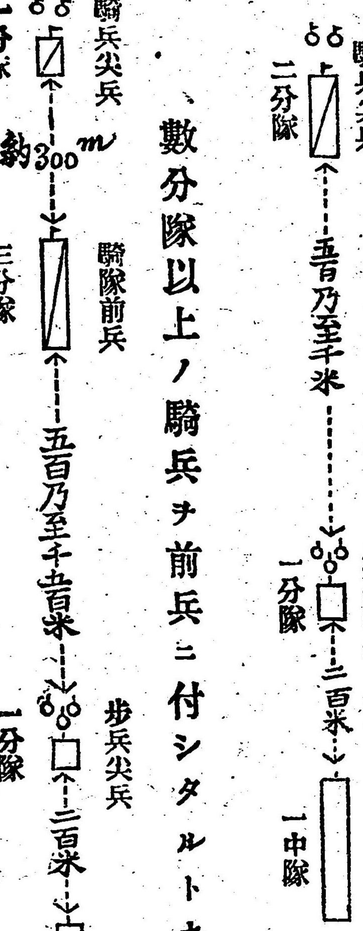
前衛ハ前衛本隊及ヒ前兵ニ區分ス前兵ハ勉メテ建制部

隊ヲ以テシ前衛歩兵ノ四分一乃至六分一及ヒ必要ノ騎兵、工兵ヲ以テ編組ス

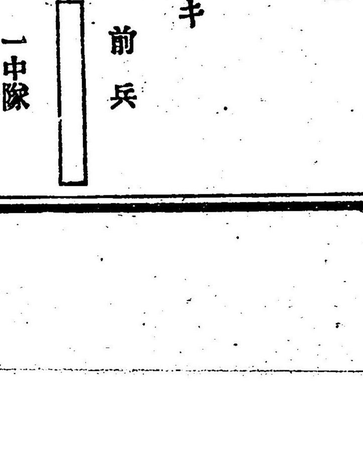
大ナル前兵ニシテ且ツ其警戒ヲ益々確實ナラシムルニ適當ト認ムルトキハ之ヨリ更ニ一部隊(一中隊若クハ一小隊)ヲ前方ニ派遣スル之ヲ前兵支部ト云フ

前兵(若クハ前兵支部)ノ前方ニ歩兵ノ尖兵ヲ出ス而シテ前兵ニ數分隊以下ノ騎兵ヲ付スルトキハ此歩兵尖兵ノ前方ニ尚ホ騎兵尖兵ヲ出シ又數分隊以上ノ騎兵ナルトキハ前兵騎兵トシテ歩兵尖兵ノ前方ニ派遣シ更ニ之ヨリ騎兵ノ尖兵ヲ出スコトアリ此場合ニ於テハ歩兵尖兵ヲ省クコトアリ

數分隊以下ノ騎兵ヲ前兵ニ付シタルトキ



數分隊以上ノ騎兵ヲ前兵ニ付シタルトキ



歩(騎)兵ノ尖兵ハ一分隊以上ノ兵ヲ士官ノ指揮ニ屬シ以テ縱隊ノ進路及ヒ其近傍ノ捜索ニ任セシム

前衛ノ區分前陳ノ如シト雖微弱ナル前衛ニ於テハ前兵

ヲ省略シ歩兵及ヒ騎兵ノ尖兵ヲナシテ直ニ前衛本隊ノ前方ニ行進セシムルコトアリ更ニ小ナル部隊例令ハ一小隊行進スルトキノ如キハ約一分隊ヲ以テ尖兵トナシ前衛ノ任務ニ充ツルヲ以テ足レリトス(本款其一ノ終リニ示セル圖例參照)

其三　歩兵尖兵ノ任務及ヒ動作

尖兵ハ行軍縱隊ノ嚮導トモ云フヘク耳目トモ謂フヘク最外敵方ニアリテ警戒捜索ニ任シ其動作ハ他ノ警戒隊ニ比シ比較的困難ナリ尖兵ノ長ハ成ルヘク將校ヲ以テスルモ必竟是等ノ關係ニ基因スルモノナリ

尖兵ハ縱隊ノ進路及ヒ其左右近傍ノ地ヲ捜索シ敵ヲ發見シ其見聞シタル事件ヲ報告シ又敵ノ騎兵及ヒ歩兵ノ小部隊ニ對シテハ若干ノ抵抗ヲナササルヘカラス

尖兵ハ通常士官ノ指揮ニ屬スル一分隊ヲ以テス然レトモ小部隊ニ在リテハ之ヨリ寡少ノ兵ヲ下士ノ指揮ニ屬シ尖兵トナスコトアリ

尖兵長ハ行進發起ニ當リ概ネ左ノ處置ヲナス

一、敵狀及ヒ我目的ノ大要ヲ部下ニ教示ス

二、記號ノ約束

三、斥候ノ區分

四、先頭兵ニ行進方向ヲ指示ス

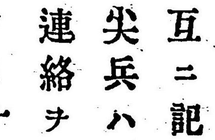
五、背後連絡ノ爲メ交通兵ノ指定

六、運動發起

要スレハ運動發起前武器彈藥ノ檢查ヲナス

尖兵長ハ自己ノ直接前方ニ二名ノ兵ヲ派遣ス此兵ハ捜索ヨリハ寧ロ尖兵長ノ護衛タリ而シテ視察ハ主トシテ尖兵長自ラ之ニ任スルモノトス之カ爲メ尖兵長ハ部下ノ先頭ニアリテ行進シ自己ノ後方若干距離ニ部下ヲ集團シテ跟隨セシム此跟隨距離ハ尖兵長一令ノ下ニ直ニ運動シ得ル如ク連絡ノ確實ヲ主トセサルヘカラサルヲ以テ開濶地ニ

尖兵開濶地ノ行進



アリテハ五十米蔭蔽地ニアリテハ十數米ヲ標準トスヘシ

稍々開濶ノ地ニ在リテハ所要ニ應シ斥候ヲ派遣シ又村落蔭蔽地ニアリテハ多クハ散開シテ行進ス其散開ノ間隔ハ互ニ記號又ハ音聲ヲ以テ相連絡シ得ルヲ度トスヘシ又尖兵ハ通常二人ノ兵卒ヲ前兵トノ中間ニ置キ以テ之ト連絡ヲ保持スヘシ是レ其兵員僅少ニシテ運動輕捷ナルノミナラス其任務捜索ニアルヲ以テ動モスレハ後續部隊トノ連絡全ク絶ユルニ至レハナリ此二名ノ交通兵ハ道路ノ通視如何ニヨリ或ハ並列シ或ハ前後ニ距離ヲ保チテ行進ス

搜索ヲ爲スニハ宜ク考慮スル所アルヘシ詳言スレハ土地ヲ視察シ且ツ自問スルヲ要ス卽チ敵ハ何レノ地ニ伏兵ヲ置クナラン或ハ敵ニ發見セラルルコトナク其地ニ達セン爲メニハ何レノ道ヲ經由スヘキカ或ハ某點ハ彼我ニ如何ナル利害ノ關係アルヤ等ヲ考慮スルナリ

凡ソ敵ノ潛匿スヘキ地點ハ騎兵ニアリテハ起伏ノ地、孤立ノ小林及ヒ農厦ノ背後ニ於テシ歩兵ニアリテハ凹道、斷溝、墓地、森林等トス故ニ斯ノ如キ地點ハ宜シク之ヲ視察シ若クハ搜索スルヲ要ス

尖兵ハ勉メテ早ク敵ヲ發見シ且ツ報告スヘキモノトス故ニ展望自在ノ地アレハ之ヲ利用シテ諸方ヲ注視スルヲ要ス而シテ尖兵ニ任スル各兵ハ斯ノ如キ地ヲ通行スルトキハ躬ラ諸方ヲ注視シ或ハ其長ニ於テ一名若クハ二名ヲ其地ニ差遣ス

後衛ノ尖兵ハ特ニ精勵以テ後方ヲ注視スルヲ要ス故ニ高地ニ至レハ暫ラク駐止スルコトヲ許ス是レ暫ラク後方ノ地ニ注意シ且ツ其後方若クハ側方ヨリ敵ノ近接シ來ルモノアヲサルヤ否ヲ視ンカ爲メナリ此時ニ當リ連絡兵ハ能ク注意ヲ加ヘテ尖兵ノ踪跡ヲ失フヘカラス若シ其踪跡ヲ失ヒ且ツ再ヒ發見スルコト能ハサルトキハ速ニ之ヲ其前兵ニ報スヘシ

尖兵ノ行軍中ハ決シテ頭ヲ垂ルヘカラス眼ヲ各所ニ張

リテ其及フ限リ左右遠方ヲ注視シ綿密ニ且ツ迅速ニ蔭蔽點ヲ捜索スヘシ

遠方ノ地ニ在リテ怪訝スヘキ物體ノ地上ニ存スルヲ見レハ一二名ノ兵ヲ直ニ派遣シテ捜査スルヲ要ス又蔭蔽ノ地ニ於テ多少展望透視シ得ヘキ所アレハ此點ヨリ敵方ヲ通視セシムヘシ

捜索ハ注意ト精勵トヲ以テセハ例令ヒ寡少ノ兵員タリト雖廣ク縱隊周圍ノ地ヲ安全ナラシムルヲ得ヘシ

近接ノ地ニ到リテ敵ヲ發見シ之カ報告ヲ呈スルニ當タリ遲キニ失スルノ憂アルトキハ先ツ速ニ數發ノ射撃ヲ爲シ最初ノ報告ニ代ヘ然ル後其目撃セシ所ヲ報告スヘシ

敵カ我ヲ見ルコト能ハス且ツ我ニ害ヲ加フルコト能ハサルカ如キ遠距離ノ地ニアリテ忽然騒擾スルハ智者ノ所爲ニアラサルヘシ此場合ニ於テハ一名ノ兵卒潜ニ歸リテ之ヲ報スヘシ他ノ者ハ敵ノ踪跡ヲ失ハサランコトヲ要ス斯ノ如キ場合ニ在リテ指揮官ハ我ニ利アリト思惟スル所ノモノヲ實行スルノ便アルモノトス例令ハ伏兵ヲ置キ或ハ不意ニ敵ヲ襲ヒ或ハ敵兵優勢ナレハ潜カニ逃ルヽカ如シ

尖兵不意ニ敵ノ射撃ヲ受ケタル場合ニ際シテハ唯タ速ニ掩蔽シテ敵ヲ凝視スルヲ以テ足レリトス蓋シ尖兵ニ

跟隨シテ行進スル部隊ハ既ニ銃聲ヲ聞キシヲ以テ尖兵ノ一人故サラニ歸來シテ之ヲ報告スルノ必要ナシ部隊指揮官ハ前方ニ於テ事ノ發セシヲ知リ且ツ之ヲ視察シ得ルト又尖兵ハ猶ホ當該ノ敵ノ兵力ヲ詳知セサルカ故ニ指揮官ヲ益スルノ報告ハ未タ一ツモ得サルヲ以テナリ

尖兵カ敵ニ遭遇セハ勉メテ敵ニ近接シテ敵狀ヲ捜索スルコトヲ計ルヘシ之ヲ行フニハ毎兵ノ躍進法ヲ以テス而シテ側方ニアル兵卒ハ敵ノ射撃ヲ受ケサル限リハ速ニ敵ノ占有スル地點ニ對シテ行進スルヲ勉ムヘシ敵カ試射スル所ノ砲彈ノ多寡、土地ノ種類(遮斷地ナルカ

平坦地ナルカ開濶地ナルカ又ハ一大地區存スルカ若クハ小部隊ニアラサレハ潜匿シ能ハサルカ如キ小地區ノミ存スルカ)ニ依リ凡ソ敵ノ兵數ヲ察知スルヲ得ヘシ

敵ノ射撃ニヨリ從來ノ路上ヲ前進スルコト能ハサルニ至レハ側方ニ出テ且ツ迂回シテ目的ノ地ニ達スルコトヲ務ムヘシ

尖兵ハ敵ニ近接シ而シテ其位置兵力ヲ觀察スルヲ得ハ卽チ之ヲ後方ニ報告スヘシ例令ハ敵ノ人員ハ概ネ幾許ニシテ何レノ地點ニアリテ云々ト云フカ如シ然レトモ亦唯タ記號ヲ以テ敵ノ現在ヲ速ニ後方ニ示スヲ以テ足レリトスルコト屢々是レアリ例令ハ優勢ナル敵ノ部隊ノ

現在スルヲ報スルニ銃ヲ擧ケ之ヲ左右ニシ或ハ寡少ナル敵ニハ手ヲ擧ケ之ヲ囘ハス等ノ如シ是レ敵ノ強弱ヲ報スルコトモ必要ナレハナリ凡ソ敵ノ兵力ヲ報告スルニ口頭或ハ筆記ヲ以テスルトキハ成ルヘク員數ヲ以テシ已ムヲ得サルニアラサレハ優勢或ハ劣勢等ノ語ヲ用ヒサルヲ可トス蓋シ此語ハ其意義廣ク確然タラサルヲ以テナリ

村落ノ捜索

尖兵村落ヲ捜索スルニハ遠方ヨリ先ツ望遠鏡ヲ用ヒテ之ヲ視察シ敵カ其周圍ヲ守備セシヤ否ヤヲ見ルヘシ是レ敵兵斯ノ如キ地區ヲ守備セシトキハ之ヲ探知スルコト遲キニ失シ爲メニ我カ稠密部隊ノ害ヲ受ケタルコト往々其例アルヲ以テナリ

尖兵ハ該周圍若クハ其前方ニ於テ一ツモ敵狀ニ係ルモノヲ見サレハ廣キ隊形ヲ取リテ村落ニ近接シ最近ノ家屋ニ付テ住民ヲ捕ヘ敵ノ所在ヲ問ヒ且ツ成ルヘク數人ニ就テ其陳述ヲ比較スヘシ而シテ街道ニハ各兵ヲ配置シ以テ伏兵ヲ備フルナラント推察スルノ地例令ハ寺院、學校、村落、鐵道停車場等ハ注意シテ捜索スヘシ又二三ノ兵ヲシテ村落ノ周圍ヲ巡行捜索セシムヲ是レ遠距離ノ地ヨリ敵ノ近接シ來ルヤ否ヤヲ視察シ且ツ敵若シ村落ヲ出入スレハ其踪跡ヲ發見セン爲メナリ

敵國ニ在リテハ已ニ危險ノ生セサルコト確實トナルニ

至ルマテ人質トシテ其地ノ長若クハ名望家ヲ引致スヘシ

尖兵カ隘路ニ遭遇シタルトキハ縦隊ノ隘路ニ至ルニ先ンシ成ルヘク速ク前方ノ地區ヲ捜索シ安全ニ後方部隊ヲシテ隘路ヲ通過セシムヘシ

若シ歸路再ヒ隘路ヲ通行セサルヲ得サレハ一時其地ニ一斥候或ハ一部隊ヲ殘留セシメ以テ隘路ノ占領ヲ確實ニス而シテ敵襲ニ際セハ之ヲ抗拒シ速ニ他部隊ニ報告シ他道ヲ取ル等ノ所置ヲナスノ餘裕ヲ得セシム

方今微烟火藥採用以來尖兵ハ殊ニ注意周到ナルヲ要ス敵ハ我ノ知ル所トナラサランカ爲メ勉メテ潜匿シ之ニ

依リテ無烟火藥ノ利ヲナシテ一層大ナラシム故ニ尖兵ハ譬ヒ射撃ヲ受クルモ射撃何レノ地ヨリ來ルカヲ目撃スルコト難シ須ラク眼力ヲ廣大ニシテ最近ノ地ノミニ放タスシテ遠距離ノ地ニモ及ホササルヘカラス

防禦陣地ニ在リテ我ヲ待ツ所ノ敵ハ命中確實ニシテ遠隔ノ地ニ達スヘキ小口徑微烟ノ銃ヲ用ユレハ我ヲシテ容易ニ其所在ヲ知ラシメス是ヲ以テ現今ニ於ケル開戰ノ端緒ハ動モスレハ從前ヨリ永キコトアリ是レ不意ニ射撃ヲ受クルノ地ニ入ルモ尚ホ舊ニ倍シ注意ヲ要スルノミナラス銃砲彈ハ遠距離ニ達スルヲ以テ開戰ハ遠距離ノ地ニ於テシ且ツ展開ノ爲メ許多ノ時間ヲ要スレハ

ナリ

即チ敵カ斯ノ如ク我ニ所在ヲ知ラシメス微烟ノ射撃ヲ以テスルトキハ我カ之ヲ發見スルハ地形ヲ利用シ潜進之ヲ捜索スルノ外ナシ此潜進ハ目標大ナル騎兵ヨリハ目標トナラサル歩兵ノ小斥候ヲ勝レリトス故ニ將來敵ト遭遇スルニ當リ歩兵ノ捜索斥候ハ甚タ緊要ナルニ至レリ

凡ソ小ナル部隊ハ急襲ヲ受クルノ危險アルコト大ナル部隊ニ比シテ稍々多シトス然レトモ小部隊ニ在リテハ運動ノ輕捷ト潜行ノ便トニ由テ此危險ヲ避ケ得ヘシ例令ハ村落及ヒ街道ヲ避ケ山地、森林其他蔭蔽ノ地ヲ行進

スルカ如シ

蔭蔽ノ高地及ヒ林道ノ近傍ハ小部隊ノ行進ニ利益アルモノトス蓋シ敵眼ニ觸レスシテ敵ヲ目撃シ得ヘケレハナリ

迂回モ亦決シテ棄ツヘカラス此運動ハ概シテ冒險急激ニ施行センヨリハ寧ロ怜悧ニ且ツ注意シテ施行スヘシ例令ハ小ナル部隊ハ尖兵ニ於テ疑ハシキ農屋、凹道等ヲ通過シ其捜索ヲ終ル迄往々蔭蔽ノ地ニ駐止スルヲ要スルカ如シ而シテ尖兵長ハ連絡兵ニ記號ヲ示シ連絡兵ハ之ヲ後方部隊ニ傳道シ發聲スルコトナク行進ヲ繼續スヘシ反シ大ナル部隊(數中隊、數大隊、數聯隊)ニ於テ緩慢斯

ノ如クナレハ常ニ利アラサルナラン卽チ尖兵ハ前進注意ニ過キ之カ爲メ本隊ノ行進ヲ遲緩ナラシムヘカラス其時限ヲ定メテ一定ノ點ニ達セントスルカ如キ行軍ニ於テハ殊ニ然リトス

狀況斯ノ如ク前進急ヲ要スルトキ警戒部隊ハ躊躇考慮センヨリハ寧ロ活潑ナル冒險ノ行爲ニ出ツルヲ以テ反ツテ眞策トスルコト往々是レアリ

暗夜ニ在リテハ捜索頗ル困難ナリ音聲ヲ聽キ若クハ跫音又ハ蹄響ノ近ツクアラハ一兵卒ヲシテ速ニ疾行探査セシムヘシ若シ敵ニ衝突スレハ發射スヘシ

尖兵ハ捜索ヲ爲スニ其人員寡少ナレハ之ヲ援助スル爲メ前兵ヨリ斥候ヲ派遣スルヲ要ス

前兵ハ尖兵ノ後援トナリテ敵狀幷ニ土地ノ捜索ニ任ス故ニ尖兵ト常ニ連絡ヲ確實ナラシムルヲ要ス

凡ソ警戒勤務ニ於テ突然敵ニ衝突スルトキハ勇敢突進スルヲ以テ速ニ勝ヲ制スルコト往々是レアルカ如シ蓋シ我躊躇スルトキハ偶々以テ敵ニ準備ノ時間ヲ與フレハナリ卽チ注意周到ナルニモ拘ハラス好機ニ於テ敵ヲ發見スルコト能ハサルトキ例令ハ敵兵潛匿地ヨリ露出シ突然我ヲ暴擊スルトキノ如キハ先ツ敵ヲ發見セル所ノ部隊ハ神速電閃ノ如クニ進襲シ或ハ迅速ニ射擊スヘシ警戒部隊カ不意ノ衝突ニ處スルノ要務ハ勉メテ速ニ

殊ニ前方ニ於テ亘陣地ヲ占領シ若シ續テ進ム能ハサルトキハ此陣地ヲ固守スルニアリ若シ斥候ニシテ斯ノ如キ場合ニ遭遇スルトキハ迅速ニ蔭蔽物ヲ索ムヘシ他事ハ我優勢ノ火力ニ委スヘシ

要スルニ明カニ視察シ且ツ判斷スルコト能ハサル場合ニ在リテ遲疑スルハ不可ナリ攻撃精神ヲ發揚スル果斷決心ヲ最亘トス(第一章第四第五款參照)

其四　騎兵尖兵ノ任務及ヒ動作

騎兵尖兵ノ動作モ亦前陳歩兵尖兵ニ付テ述ヘシモノニ準シ大差アルコトナシ但シ騎兵ノ歩度ハ迅速ナリ從ツテ其動作ニ多少ノ差異ハ免レス且ツ騎兵ハ概ネ戰鬪ヲ

以テ主トセス運動ニ由テ捜索スルヲ主トス是レ等ノ爲メ今若干其差異ヲ述フル所アラントス

騎兵ノ尖兵ハ四騎乃至六騎ヲ士官ノ指揮ニ屬シ其他通常一騎若クハ二騎ヲ後方道路上ニ置キ背後ノ連絡ヲ保持セシム

尖兵ノ行進ハ歩兵ニ就キテ說キシト同要領ナリ唯タ其各距離間隔幷ニ捜索面ハ歩兵ニ比シ廣大ナルヲ得是レ歩度ノ迅速ニ由テ交通連絡容易ナレハナリ

尖兵及ヒ斥候カ敵ト相會スルニ至レハ之ヲ見失フコトナク敵退ケハ我之ニ從ヒ敵進メハ我退キ絶ヘス敵ヲ我眼中ニ失フヘカラス然レトモ著シク其所定ノ線路ヲ離

騎兵速力ノ利用

ルヘカラス然ラサレハ忽チ捜索線ヲ亂シ遂ニ線中巨大ノ空隙ヲ生スルニ至ル若シ止ムヲ得ス一時最初ノ方向ヲ離隔スルコトアルモ其所要ノ經過スルヲ俟チ勉メテ速ニ最初ノ方向ニ復歸スヘシ

尖兵ハ敵軍觀察上若クハ其目撃ヲ避ケント欲シ其事ノ最モ便多カラン爲メニハ萬般ノ僞計ヲ最モ巧策トナスモノナリ又敵軍視察ノ爲メニ概シテ尖兵長ハ其兵ヲシテ塔閣ニ登ラシムルカ或ハ高地ヲ攀チ近傍ヲ偵察セシムル等ヲ以テ最モ便ナリトス然ル後疾歩ヲ以テ前進シ以テ其駐止ノ爲メニ生シタル遲滯ヲ恢復スヘシ然レトモ我既ニ敵軍ヲ發見シ又猶ホ之ニ接近シテ以テ精密ニ

其情狀ヲ監察セント欲セハ尖兵長ハ唯タ登塔攀丘セシムルノミナラス亦更ニ凡百ノ計策ヲ爲スヘキナリ

此ノ接近視察ノ際ニ在リテハ乘馬ハ甚タ不利ナルモノナリ要スレハ徒歩シテ蔭蔽地ヲ利用シ以テ捜索スルヲ可トス

或ハ尖兵カ敵軍ニ遭遇スルコトアルモ直ニ我軍ノ敵軍ト其ノ鋒ヲ交ヘ始メシト云フヘキモノニアラス蓋シ此尖兵ノ衝突セシ所ノモノ亦或ハ敵軍ヨリ無援孤立ノ斥候ヲシテ過大ニ派遣セシモノナランモ未タ知ルヘカラス而シテ若シ此際ニ在リテハ我尖兵カ其遭遇スル所ノ敵ノ騎兵ヨリ多數ナルトキハ宜シク此敵ヲ急襲シ以テ

囚虜ト爲サンコトヲ試ムヘシ此際ニ當リテハ尖兵長ハ豫メ自ラ慮リ敵ニ衝突スルヲ以テ利アリト爲サハ果然之ヲ實行スヘシ抑モ騎兵ニ於テ不決心ノ所置ハ最モ忌ムヘキ所ナリ

凡ソ尖兵ノ休憩ハ概シテ甚タシク重要ナラサルノ蔭蔽地ニ於テスヘシ斯ノ如キ地ハ概ネ小林叢樹林孤立ノ牧園等ナリ又人家密集ノ地等ハ稀ニ使用スヘキモノナリ然レトモ亦是レ其地人民ノ信用アルトキニ限ルヘシ之ヲ要スルニ尖兵ノ休憩ハ必ス完全自ラ警護シ得ヘキコト最モ難キモノナリ故ニ敵ニ蔭蔽シテ休憩シ若シ發見セラルレハ速ニ逃避スルモノトス之カ爲メニハ運

動困難ナル圍墻内隘路内等ニハ決シテ入ルヘカラサルモノトス

抑モ騎兵ノ任タル捜索ニ在リテ戰鬪ニアラスト雖其任務ヲ盡クスニ他ノ手段ナキトキハ戰鬪ヲナスノ止ムヲ得サルニ至ルヘシ而シテ騎兵ノ戰鬪ニ於テ志氣ノ勇否ハ其最大部分ヲ占ムルモノニシテ指揮克ク至リ士卒勇猛ニシテ果敢ナルモノ竟ニ勝利ヲ得一旦勝利ヲ得タル騎兵ハ倍々恃賴心ヲ生シ克ク遠距離ノ捜索ヲナシ縱隊長ヲナシテ所要ノ情報ヲ得セシムルニ至ルナリ

要スルニ騎兵ノ特能ハ速力ノ迅速ナルニアリ此速力ヲ利用シ神速機敏不測ノ運動ニ由テ敵ヲ制シ敵ヲ捜索セ

サルヘカラス而シテ既ニ此速力ヲ利用スルノ方法ナク
他ニ手段ナキトキハ果斷白兵戰鬪ヲ用ユヘシ

第三章　行軍間ノ斥候幷ニ尖兵ノ動作ニ關スル應用

想定

所用地圖二萬分ノ一原町田

一、南北兩軍ハ橫濱街道上原町田村附近ニ於テ遭遇センコトヲ豫期ス

二、北軍前衛步兵ノ先頭ハ午前九時木曾村三叉路ニ達ス

三、此地點ヨリ行進路上ノ尖兵（將校ノ帥ユル一分隊）ト齊頭面ニ向ッテ左ノ二斥候（下士一名兵卒六名ヨリ成ル）ヲ前兵ヨリ派遣シタリ

1、木曾村ヨリ淵野邊村ヲ經テ鵜野森村上鶴間村方向ヲ捜索セシムル下士斥候

2、木曾村東南方約五百米ニアル三叉路ヨリ本町田村南大谷村ヲ經テ高ケ坂

村方向ヲ捜索セシムル下士斥候

斥候ハ發令ニ當リテノ諸置

右ノ想定ニ於テ先ツ淵野邊村方向ニ派遣セラル、斥候ヨリ研究セントス

問 斥候長ハ任務ニ關スル命令ヲ受クルヤ先ツ第一ニ如何ナルコトヲナスヤ

答 部下ニ任務ノ大要ヲ示シ必要ノ記號ヲ約ス卽チ左ノ如シ

1. 本日ハ原町田村附近ニ於テ敵ト遭遇スル豫定テアル原町田村ハ約一里許リ東南方テアル
2. 我等ハ斥候トナリ本隊行進路ノ右側ヲ捜索セント

ス

3. 我等ノ行進路ハ是レヨリ西南方淵野邊村ニ至リ東南ニ折レテ鵜野森村ヲ經テ上鶴間村ノ方ニ進ムナリ上鶴間村ハ原町田村ノ西南方凡ソ二千米ニ當ルナリ
4. 若シ途ヲ失シ或ハ離散シタルトキハ原町田村ヲ目標トシテ互ニ本隊ニ復歸スルコト

以上ハ現地ヲ指示シ地圖ニ對照シテ懇ニ敎示ス

5. 口笛ヲ以テ互ニ連絡ノ合圖トスルコト
6. 右進ハ右手ヲ右方ニ、左進ハ左手ヲ左方ニ、前進ハ雙手ヲ前方ニ、背進ハ雙手ヲ上方ニ、停止ハ雙手ヲ上方

ニ擧ケ直ニ下スコトヲ以テ記號トス

7. 異狀ナキハ手ヲ左右ニ振ルコト

8. 小斥候ノ如キ敵兵ノ發見ハ銃ヲ垂直ニ擧クルコト

9. 優勢ナル敵ノ發見ハ銃ヲ水平ニ擧クルコト

10. 危險ノ切迫ハ銃ヲ上下スルコト

11. 注意戒愼ヲ表スルハ帽ヲ振ルコト

12. 伏潛ヲ命スルハ帽ヲ上ニ擧ケ直ニ下方ニ壓下スルコト

問 然ラハ斥候長カ部下ニ敎示ヲナスハ何レノ地點ニ於テナスヤ

答 行進シツツ示ス

問 何故ニ行進シツツ示スヤ

答 行軍斥候ナルモノハ本隊ノ運動ヨリ後レサル如ク迅速ナル動作ヲナササルヘカラス殊ニ本隊ハ道路上ヲ續テ行進シ之ニ反シ斥候ハ或ハ不齊地ヲ橫キリ或ハ高地ヲ攀登シ行進路ハ多ク迂廻ヲ爲スヲ以テ頗ル急速ノ步度ヲ取ルモ本隊ヨリ後ルルハ常ナリ故ニ勉メテ行進ヲ遲滯セス出來得ル限リ迅速ナランコトヲ考ヘサルヘカラス是レ停止シテ敎示ヲ與ヘス行進シツツ敎示ヲ與フル所以ナリ

問 行進隊形ハ如何ナル區分ヲナスヤ

答 斥候ノ行進隊形ハ行進中其遭遇スル所ノ地形ニ由

斥候隘路ノ通過

ッテ常ニ變化ス決シテ一道路上ヲ行進スル行軍縱隊ノ如ク一定ノ隊形ヲ以テ行進スル能ハス今此斥候ノ行進方向ヲ案スルニ或ハ峽隘アリ或ハ橋梁アリ或ハ森林アリ或ハ村落アリ或ハ蔭蔽地アリ或ハ開豁地アリ其遭遇スル地形千差万別ナリ其地區毎ニ隊形區分ヲ適當ニ變化セサルヘカラス

問　然ラハ先ツ木曾村ヨリ分進スレハ境川ノ橋梁アリ此橋梁ヲ通過スルニハ如何ナル隊形、如何ナル方法如何ナル捜索ヲナスヘキヤ

答　凡ソ敵地若クハ敵ノ既ニ通過シタル橋梁ニ遭遇セハ二名ノ斥候ハ先ツ其入口ニ止マリ橋上及ヒ其兩

側ヨリ之ヲ捜索シ然ル後一人ヲ進メ橋上ヲ急行シ橋ヲ渉リ對岸ノ危險ナラサル方ニ至リ危險地ヲ觀察シ次キニ橋下ヲ捜索ス但シ橋下ノ捜索ハ破壞ノ準備等爲シアラサルヤ否ヤヲ檢査スルニアリ

今ヤ斥候ハ長ト共ニ六名ヨリナルヲ以テ先ツ先頭ニ進ム二名ヲシテ兩岸ヨリ橋梁ノ兩側及ヒ要スレハ一名ヲ河岸ニ下ラシメ以テ橋床下ヲ捜索セシメ二名ヲシテ速カニ橋梁ヲ越ヘ淵野邊村東方無名祠方向ヲ捜索セシメ斥候長ハ他ノ者ヲ率ヒ前岸ニ渡リ一名ヲシテ橋梁ヨリ上流約二百米ニアル無名寺ノ近傍ヲ捜索セシメ而シテ淵野邊村南方標高104.6ノ

問　點マテ急進スルハ如何ナル理由ナルヤ

答　標高104.6ノ點マテ急進スルハ開豁地ナルヲ以テ敵目ニ觸レサル爲メ速ニ標高104.6ノ點マテ進ミ爰ニ森林端ニ掩ハレ東西ヲ展望視察シ更ニ南方ノ大森林捜索ニ從事セン爲メナリ

問　開豁地ヲ急進スルトキノ隊形ハ如何

答　開豁地ニ在ツテハ敵襲ノ憂ヒ少シト雖我カ所在地ヲシテ敵ニ隱匿スル能ハサル害アリ故ニ斥候ハ注意ヲ倍蓰シ敵ヲ發見シ而シテ其行進ヲ掩護スルニ足ルヘキ地物ハ假令ヒ些少ノモノト雖之ヲ利用スルヲ怠ルコトナク道路ヲ行進スルニハ低所ヨリシ

又側方ニ溝濠等アレハ其内ニ入リテ行進シ時ニ頭首ヲ出シテ其近傍ヲ觀察スルヲ要ス

問　卽チ先キニ淵野邊村東方無名祠附近ニ進ミシモノヲシテ左側蔭蔽地ノ捜索ニ任セシメ他ノ者ハ一名ヲ先頭トシ殘余ハ其ノ後方五十米ヲ隔テヽ道路上ヲ標高104.6ニ向ツテ前進ス

答　標高104.6以南ハ尤モ危險ナル大森林ナリ之ヲ捜索スルハ如何ナル方法ヲ以テスルヤ

問　森林廣大ナル乎若クハ或ル徽候ニ依リテ森林内ニ侵入スルヲ危シトヲ思フトキハ輕忽ニ森林内ニ入ルヘカラス先ツ兩側ニ斥候ヲ出シテ内部ヲ窺ヒ而シ

テ此斥候林端ヲ占メ其看守ヲ爲シタル後始メテ林
内ニ入ルモノトス斥候ノ最モ注意警戒スヘキハ蔭
蔽地殊ニ大森林ナリ此等ノ地區ニ於テハ連絡困難
ニシテ且ツ展望ハ全ク爲ス能ハス往々退路ヲ絶タ
レ或ハ捕獲ニ陷ルモノトス

標高104.6ノ點ヨリ南方ニ亘ル森林ノ周圍ニハ眞好ナ
ル道路アリ且ツ林中ニハ淵野邊新田ヨリ木屑ノ東
南方ニ通スル片點線路アリ此道路ハ殊ニ注意スヘ
キモノトス卽チ斥候一名ヲシテ森林ノ西側ニ沿フ
所ノ道路ヲ行進セシメテ以テ森林内部ヲ窺ハシメ
ニ名ヲシテ森林中ノ片點線路ヲ行進シテ内部ヲ捜

索セシメ斥候長ハ殘餘ノ兵ヲ率ヒ標高104.6ヨリ鵜野
森村ニ向ツテ前進ス

問

右ノ如ク三部分ニ別レテ捜索スル斥候ハ如何ニシ
テ連絡ヲ取ルヤ又再ヒ集合スルニハ如何ナル約束
ヲナスヘキヤ

答

小森林ニシテ所々ニ林空アレハ此點ニ於テ互ニ展
望シ連絡ヲ取レトモ現在ノ森林ハ大森林ニシテ到
底連絡スヘキ林空モナク又林中ニ各斥候ノ行進ス
ル道路ヲ連絡スヘキ點線路アレトモ距離遠クシテ
小數ノ斥候ニテハ互ニ連絡兵ヲ出スコトモ出來ス
故ニ此場合ニ於テハ速ニ林中ヲ通過シ林端ニ於テ

互ニ連絡スルノ外ナシ故ニ斥候長ハ互ニ別ルルニ臨ミ左ノコトヲ約スルナリ

各斥候ハ速ニ林中ヲ通過シ鵜野森村十字路ニ於テ再會セン

若シ途中敵ニ遭遇シ會合點ニ至ル能ハサレハ横濱街道上ニ逃レ兼テ約シアル如ク本隊ニ歸還シ報告ヲナスヘシ

問　林中ノ片點線路ヲ行進セシ斥候ハ淵野邊新田北方無名祠ヲ距ル約三百米ノ處ニ行進シ至ルヤ忽チ前方ヨリ三名ノ敵兵行進シ來ルヲ見ル此斥候ハ如何スルヤ

答　身ヲ林中ニ潜メテ敵ノ動靜ヲ視察ス

此斥候ノ處置ハ捜索ノ原則タル敵ニ發見セラレスシテ敵ヲ見ルノ主旨ヲ遵守セルナリ

問　敵ハ續テ道路上ヲ北方ニ進ミ既ニ潜伏シアルヲ發見セントスルノ距離ニ近接セリ斥候ハ如何

答　漸次退却シテ敵ニ發見セラレサルコトヲ勉ム且ツ成シ得レハ東南鵜野森村ニ通スル點線路ヲ經テ鵜野森村方向ニ退避センコトヲ勉ム

問　森林ノ西側ニ沿フ所ノ道路ヲ行進セシ斥候ハ今ヤ大森林ノ西南ヨリ淵野邊新田ニ向ッテ前進スル際淵野邊新田ノ北端ヨリ約一小隊ノ敵ノ歩兵北方ニ

敵ニ先ンシテ發見セラレ危険ノ切迫ヲ射撃ヲ以テ報ス

前進スルヲ見ル且ツ自己ノ方ニ向ツテ三名ノ小斥候前進シ來ルヲ見ル爰ニ於テ斥候ハ如何スルヤ

答

身ヲ蔭蔽シテ今シモ通過スル敵ノ縦隊ヲ側面ヨリ視察シ且ツ後續部隊ノ有無ヲ確メンコトハ最モ希望スル所ナレトモ悲哉我方ニ向ツテ前進スル敵ノ斥候ハ我ヲ發見セシモノゝ如ク到底潜匿シテ視察スルコトハ敵カ許スマシ然ラハ兼テ約束ノ會合點ニ至リ斥候長ニ報告センカ是レ亦徑路ハ敵ノ爲メニ遮キラレ實行スヘカラス若カス危険ノ敵カ我側面ニアルコトヲ射撃ヲ以テ報シ自己ハ速ニ横濱街道ニ向ツテ退却セントス

斥候ハ紊リニ射撃スヘキモノニアラス然レトモ今ヤ敵ノ密集隊我本隊ノ側面ニ迫リツヽアリ退却シテ以テ報告セントスルモ既ニ敵ノ爲メニ退路ヲ遮斷セラレ時機ニ後レス報告ヲ爲シ得ルヤ疑ハシ故ニ先ツ射撃ヲ以テ警報ヲ與フルノ方法ヲ取ルナリ

問

斥候長ハ徑路異狀ナク鵜野森村十字路ニ達シ他ノ斥候兵ヲ待タントスル際淵野邊新田西北ニ當リ數發ノ銃聲ヲ聞ケリ斥候長ハ如何スルヤ

答

直ニ其銃聲ノ方ニ赴キ搜索ヲナス

問

斥候長カ鵜野森村西南方水田ノ西縁ニ達スルヤ淵野邊新田中央ノ三叉路ヨリ一ツノ密集隊東ニ向ツ

側面ヨリノ視察

テ行進シ其前方ニハ斥候ラシキモノ馳走スルヲ見ル斥候長ハ如何スルヤ

答　現在ノ地點ニ於テハ身ヲ潜匿スルニ不便ナル故北方大森林ノ南端附近ニ於テ潜匿シ側面ヨリ敵ノ縱隊ヲ視察ス

問　其視察ヲナスニハ如何ナル手段ニ由ルヤ

答　淵野邊新田ノ東北道路ノ屈折點ヲ目標點トシ此目標點ヲ縱隊ノ先頭カ通過シ其後尾カ通過シ終ル迄ノ時間ヲ算シ行軍長徑ヨリ敵ノ兵力ヲ推算セントス

凡テ敵ヲ視察スルニハ側面ヨリスルヲ以テ適當トス

開豁地ノ通過

殊ニ敵ノ接近シ能ハサル側面ノ某點アレハ最モ可ナリ此場合ニ於テ敵ノ近接ハ之ヲ妨クル能ハスト雖幸ヒ斥候長カ潛伏セントスル地點ノ前方ハ開豁セル故敵ノ近接ハ速ニ知リ得ルヲ以テ若シ危殆ニ陷ルト思慮スルトキハ大森林ヲ利用シテ其踪跡ヲ暗マシ得ルノ利アリ

以下第二斥候卽チ横濱街道左側ノ警戒ノ爲メ派遣セラレタル斥候ニ就キ研究セントス

問　横濱街道ヨリ本町田村西方ニ至ル迄ハ平坦開豁地ナリ此地區ノ行進法如何

答　三名ヲ前方ニ派シ速ニ本町田村西方ノ陝隘ニ向ツテ前進セシメ他ハ百米ヲ隔テヽ跟隨ス

問　本町田村西方陝隘ニ至レハ如何スルヤ

答　二名ハ意ヲ決シ若干距離ヲ隔テヽ迅速ニ隘路中ニ進入シ速ニ通過シテ天神祠ノ高地ヲ捜索ス而シテ此ニ名ノ者ノ隘路前方ニ達シ異狀ナキノ報ニ接セハ他ノ者ハ迅速ニ隘路ヲ通過シ共ニ隘路前方ノ地區ヲ捜索ス

問　天神祠ノ高地ヲ捜索スルハ如何ナル方法ヲ以テスルヤ

答　凡ソ斥候カ丘阜波狀地又ハ高地ノ近傍ニ達スレハ

戒心ヲ倍蓰シ速ニ頂界線ニ出テ前方ヲ視察スルヲ要ス而シテ輕忽ニ頂界線上ニ斥候ノ全兵力ヲ現ハスハ愼ムヘキコトトス

卽チ先頭ノ二名ハ速ニ高地ノ頂界線ニ至リ前方ヲ展望シ斥候長ハ他ノ者ヲ頂界線ノ稍々後方迄テ進メテ停止セシメ射撃ノ準備ヲナサシメ置キ自ラハ直ニ頂界線ニ至リ前方ヲ充分視察シ今後行進スヘキ方向部署ヲ定メ然ル後部下ヲ指揮シテ行進ヲ繼續ス

彼我不意ノ衝突ハ多ク高地ノ頂界線或ハ森林中ニアルモノトス故ニ此點ハ最モ注意スルヲ要ス

問　天神祠ノ高地頂界線ヲ過クレハ菜果ヲ植ユル畑地或ハ森林ニシテ且ツ所々ニ小起伏アリ斥候ハ如何ニ行進ヲ繼續スルヤ

答　地面起伏シ且ツ菜果森林等アリテ所々ニ蔭蔽物アルトキハ其行進甚タ困難ナリ何トナレハ兵卒ハ絶ヘス各種地物ノ後方ニ隱匿スル散兵ニ遭遇スルノ虞アレハナリ故ニ斥候ハ注意ヲ倍蓰シ綿密且ツ周到ニ捜索シテ行進セサルヘカラス從ツテ一進一止其時間モ一定ナラス然レトモ斥候ハ其停止時間ヲ以テ近傍ニ敵兵ノ在否ト其地形トヲ案シ逐次ニ進達スヘキ地點ヲ撰定スヘシ此地點ノ撰定ハ敵ニ遠

隔スルトキト、近接スルトキト、敵襲ノ便否如何ニ從ツテ或ハ遠ク或ハ近クスルモノトス都テ斥候ハ眼力ヲ活用シ全體ノ地形ヲ看察シ敵ヨリ先キニ敵ヲ見ルコト緊要ナリ田野ヲ横過スルトキハ垣墻、溝濠、畔畦等些少ノ遮蔽物ト雖其行進ノ方向ニ平行又ハ斜交スルモノハ必ス之ヲ利用スヘシ而シテ斥候ハ此地物ニ達スレハ其背後ニ停止シ前方及ヒ側方ヲ覗ヒ敵ノ在否ヲ探リ然ル後迅速ニ之ヲ超過スヘシ」

斥候長ハ本隊トノ連絡ヲ取ル爲メ一名ヲシテ横濱街道ト本町田村ヨリ原町田村ニ通スル道路トノ中間ニアル桑畑森林ヲ點々躍進セシメ又南大谷村ヲ

通シテ南北ニ亘ル低地ヲ視察スル爲メ二名ヲ高地ノ西縁端ニ進マシメ自ラハ殘餘ヲ率ヒ本町田村ヨリ原町田村ニ通スル道路ノ東側ヲ高ケ坂村西北方ノ高地端ニ向ッテ行進ス

問　荷モ展望ヲ以テ連絡ヲ取リ得ル場合アレハ何レノ時ヲ問ハス連絡ヲナスコトヲ忘ルヘカラス斥候ヲ派スルモ連絡ナキトキハ流矢ヲ放チタルト同シク其効少ナシ

問　斥候長ハ圖上多摩郡ノ摩ノ字南方ニ至リシトキ其南方ノ杉林端ニ二三ノ敵兵アルヲ見ル而シテ此敵兵ハ我ヲ瞻望シッツアルカ如シ斥候長如何スルヤ

斥候ハ敵兵ノ本隊ヲ反對側ニ誘致シテ捕捉スル

答　此敵兵ヲ避ケ且ツ若シ此敵兵カ我本隊ノ方ニ進マントセハ之ヲ反對方向ニ誘致スル目的ヲ以テ東方ニ行進方向ヲ變ス

問　斥候長カ斯ノ如ク運動スルヤ今マテ停止瞻望シッツアリシ敵兵ハ杉林ヲ出テ北方ニ進ム如シ而シテ其兵員ハ三名ナル如シ斥候長ハ如何ニスルヤ

答　我斥候ノ任務ハ遠ク本隊ノ側方ヲ捜索スルニアリ然ルニ今僅カニ敵ノ小斥候ノ後ヲ追躡スレハ任務ヲ誤ルモノナリ若シ此敵カ本隊ニ危害ヲ及ホスヘキ優勢ノモノナレハ放置シ置ク能ハスト雖小斥候ノ如キハ本隊ニ何等ノ危害ヲ及ホスコトモ能ハサ

小斥候ニ過キサレハ本來ノ任務ヲ忘ルヘカラス

ルヘシ故ニ我斥候ハ速ニ之ヲ放置シ益々進ンテ重大ナル情報ヲ得ンコトヲ勉ム

敵カ斥候長ノ行進セシ方向ニ頓着セス北方ニ進マントスルハ自己ノ任務決行ヲ遅緩ナラシメサル爲メナラン蓋シ此敵ハ必ス我本隊ノ側面ヲ窺ハントスルモノト察シ得ラルレハナリ果シテ然ラハ此敵カ若シ斥候長ノ行進セシ方向ニ進ミシナラハ卽チ我斥候長ノ計略ニ陷リ誘致セラレタルモノト謂ハサルヲ得ス

問 斥候長ハ進ンテ高ケ坂村ニ進ミシトキ不意ニ敵兵約一分隊ニ遭遇シ敵ハ我ヲ攻撃ス斥候長ハ此時六名ノ兵ヲ掌握シアリ如何スルヤ

答 斥候ハ爭鬪ハ好マサル所ナレトモ目下ノ場合正當防禦トシテハ交戰スルノ已ムヲ得サルナリ但シ交戰シツツモ成ルヘク速ニ敵ノ觸接ヲ免レ南大谷村ノ方向ニ退却セントス是レ万一敵ニ急追セラルルモ直ニ本隊ノ方向ニ迫マラレサル爲メナリ

以下横濱街道上ヲ行進スル尖兵ニ就キ研究セントス

問 尖兵カ森野村東北方十字路ニ達セハ如何スルヤ

答 本隊ノ行進サセル道路卽チ片點線路ニ二名ノ斥候ヲ派シ停止テシ視監セシム此斥候ハ前兵ノ先頭カ此十字路ニ達セハ駈歩ヲ以テ尖兵ニ復歸ス

問　尖兵カ原町田村西北端ニ達スルトキ此村落ノ捜索ハ如何スルヤ

答　村落ヲ通過スルトキ尖兵ハ先ツ土民アレハ之ヲ捕ヘ敵ノ在否及ヒ敵ノ通行セシコトアルヤ否ヤヲ尋問シ又敵ノ動靜等ニ就テ聞知セシコトナキヤヲヲ尋問ス若シ土民ナキトキハ戒心ヲ加ヘ村内ニ進入スル既ニ進入スレハ道路ノ一側ニ依リ二名相追隨シテ行進ス但シ此時能ク注意シ對面家屋ノ門戸、屈曲路等ニ注目スルヲ要ス屈曲路ヲ通過スルニハ曲進セントスル反對側ニ沿フテ行進スヘシ蓋シ此等ノ點ハ不意ニ敵ニ出會スルノ虞レ屢々アルヲ以テナリ

土民ヲ捕フルニハ騒擾ヲ起サシメサル如ク歡キテ之ヲ拘引スヘシ又土民ヨリハ兒童、村長、土地ノ名望家等ヲ捕フルトキハ殊ニ利アルモノトス蓋シ兒童ハ淡泊ニシテ眞相ヲ吐露シ村長、名望家等ハ見聞廣ク事情ニ精シク時トシテハ直ニ之ヲ質トシ得ルノ利アリ

尖兵ハ一斥候ヲ村内ニ進入セシムルト同時ニ他斥候ヲ以テ村落ノ外圍ヲ速ニ捜索シ而シテ此レ等ノ斥候ハ行進路ニ直角ナル横路アレハ之ニ由テ村内斥候ト村外斥候ト連絡スルヲ要ス故ニ大ナル村落ニ在ツテハ小斥候ニテハ到底捜索シ難シ故ニ時トシテハ前兵ヨリ増加兵ヲ得テ捜索ニ從事セサルヘ

カラス此場合ニ於テハ此増加兵ヲ得ル迄尖兵ハ村落ノ外圍ヲ監視スルニ留マルモノトス

村内家屋ヲ捜索センントスルトキハ先ツ其家屋ニ近接スルヤ二名ノ斥候ハ嚴密ニ戒愼ヲ加ヘテ潜行シ其近傍ニ敵兵ノ隠匿シアラサルヤ否ヤヲ観察敲聽シ而シテ敵兵アラサルノ確證ヲ得レハ壁側又ハ窓下ニ進ミ内部ノ動靜ヲ敲聽スヘシ若シ居住者ノ人聲怪ムニ足ラスト思料スルトキハ先ツ窓牆ヨリ内部ヲ伺ヒ又ハ其一人内部ニ進入シ住者ニ迫リテ敵ノ事情ヲ尋問スヘシ若シ住者ノ答語確實ナラス曖昧ナルトキハ之ヲ射殺スヘキヲ以テ切嚇スヘシ此間

他一名ノ兵卒ハ地形ニ依ルヘシト雖家屋ノ外方五六十米ノ所ニ在リテ其身ヲ潜匿シ事變ヲ後方ニ報スルノ用意ヲ爲ス

又要スルトキハ二兵共ニ家内ニ進入シ綿密ニ捜索ス此時他ノ一名ハ門戸ヲ守備シ兼テ尖兵長ト交通ス

村落中ニ敵兵現在スルトキハ斥候ハ直ニ之ヲ尖兵長ニ報シ而シテ要地ヲ占領シ彼ヲ見失フコトナキヲ要ス

一般ニ斥候ノ原則トシテ蔭蔽地并ニ運動困難ナル場所ニ永ク駐止スルハ最モ忌ム所ニシテ住民地ニ於テ

ハ殊ニ然リ成ルヘク速ニ捜索シテ通過スルヲ可トス

若シ駐止スルトキハ何レノ方ニモ運動ヲナシ得ヘク且ツ展望自在ナル場所ニ在リテ身ヲ地物ニ遮蔽セシメ以テ駐止スルヲ要ス此原則ハ騎兵ニ於テ殊ニ銘心セサルヘカラス蓋シ騎兵ハ歩兵ニ比シ運動自在ナラサルヲ以テ四方閉塞ノ場所ノ如キハ騎兵ヲ死地ニ陥ルモノナレハナリ

問　尖兵カ原町田村東南端ニ出ツルヤ金森村東方附近ヨリ射撃ヲ受ク然レトモ何レヨリ發射シタルカ知ル能ハス尖兵ハ如何ニスルヤ

答　未タ銃聲ヲ聞キタルノミニテ敵ノ如何ナルモノナルヤ知ル能ハス金森村東側ノ地區ニ成ルヘク蔭蔽セラレ戒愼ヲ加ヘテ前進敵狀ヲ捜索ス

問　何故ニ此事件ヲ前兵長ニ報告セサルヤ

答　未タ報告スル丈ケノ價値ナシ何トナレハ目下ニ於テハ銃聲ヲ聞キタリト云フニ過キス他ニ何等ノ狀況ヲ認ムルナシ此銃聲ハ假令ヒ報告セサルモ前兵長ハ既ニ聞キテ知リアリ卽チ今後報告ヲ要スル必要件ハ此射撃ハ如何ナル所ヨリ如何ナルモノニ由テ發射セラレタルカヲ確ムルニアリ

情況

午前十時鵜野森村ト森野村トノ中間境川ヲ隔テテ本隊ノ一部ハ敵ト對戰ヲ始メタリ同時ニ横濱街道上ノ尖兵ハ原町田村東南端ニ於テ敵ノ射撃ヲ受ケ高ケ坂村方向ニ差遣セル斥候ハ敵ニ撃退セラレ南大谷村方向ニ退却中ナリ

鵜野森村附近ニアリシ下士斥候ハ辛フシテ本隊ニ歸還セリ

横濱街道上ニアル尖兵長ハ右ノ情況ヲ承知シ且ツ左ノ任務ヲ命セラレタリ

尖兵ハ速ニ金森村、高ケ坂村附近ノ敵狀ヲ捜索シ情況之ヲ許スナラハ鵜野森村附近ニアル敵ノ側面ニ向ッテ動作シ本隊ノ戰鬪ニ參與スヘシ

尖兵長ノ部下小隊ニシテ尖兵トナラス現時マテ前兵長ノ指揮下ニアリシモノハ右參軍曹引率シテ此時尖兵長ノ許ニ來タレリ故ニ尖兵長ハ今ヤ完全ナル一小隊ヲ有セリ

研究問題

尖兵長ハ今後如何ナル決心ヲ以テ如何ナル處置ヲナスヤ

此場合ニ於テ尖兵カ獨力ヲ以テ直ニ金森村ニ前進シ前面ノ敵ヲ攻撃スルノ決心ハ早計ノ策ナリ何トナレハ元來尖兵長ハ是非トモ敵ヲ攻撃セネハナラヌト云フ任務

ヲ有セス要スルニ後方部隊ヲ掩護シ金森村高ケ坂村附近ノ敵狀ヲ捜索シ愈々安全ナルコトヲ確メタル後成シ得レハ本隊ノ戰鬪ニ參與スヘキ任務ヲ有スルナリ今ヤ金森村及ヒ高ケ坂村附近ノ敵狀ハ全ク不明ナリ然ルニ無謀ニモ僅少ノ兵ヲ以テ直ニ蔭蔽セル金森村ニ進ムハ危險ナリ

又他ノ考案トシテ尖兵長自ラ部下全力ヲ帥テ高ケ坂村ノ高地ニ至リ制高ノ利ヲ以テ金森村方向ヲ視察スト云フ說モアランナレトモ是レ亦不可ナリ抑モ警戒スヘキ主要ナル横濱街道ヲ空虛ニシテ全力ヲ竭クシテ高ケ坂村ノ高地ニ至ルハ少シク考ヘヲ要スヘキナリ高ケ坂村

ノ高地ハ金森村方向ヲ制下シアルヲ以テ視察ニハ便ナラン然シ目下我本隊ノ爲メ横濱街道ヲ閉塞シ敵ヲシテ金森村ヨリ西北方ニ進マシメサルコトハ必要ナリ今尖兵長カ全力ヲ以テ高ケ坂村方向ニ進マハ敵ハ容易ニ本道ヲ進ミ我本隊ノ左側ヲ窺フニ至ルヘシ故ニ金森村及ヒ高ケ坂村附近ノ敵狀ヲ概知スルマテハ主力ハ矢張リ原町田東南端附近ニ位置スルヲ可トス而シテ高ケ坂村高地ニハ有力ナル斥候ヲ送レハ可ナリ

卽チ午前十時ニ於テ尖兵長ノ決心及ヒ處置ハ左ノ如クナルヲ適當トス

決心

主力ハ原町田村東南端附近ニ在ッテ數多ノ斥候ヲ放チ以テ高ケ坂村及ヒ金森村附近ヲ捜索シ寡弱ナル敵ナレハ之ヲ撃退シテ後本隊ノ戰闘ニ參與シ若シ優勢ナル敵ナレハ飽クマテ原町田東南端ヲ固守シ本隊ヲ掩護ス

處置

1. 三組ノ斥候ヲ左ノ如ク派遣ス

第一斥候ハ下士一名兵卒十名ヨリ成リ高ケ坂村高地ヲ捜索セシム

第二斥候ハ下士一名兵卒五名ヨリ成リ金森村西方天神祠ノ方向ニ派遣シ側面ヨリ金森村ヲ捜索

セシム

第三斥候ハ上等兵一名兵卒二名ヨリ成リ祥雲寺ノ方向ニ派遣シ高ケ坂村高地ノ基脚附近ヲ捜索シ兼テ東側ヨリ金森村ヲ窺ハシム

2. 尖兵長ハ原町田東南端ニ於テ身ヲ遮蔽シ前面ノ視察ヲ行ヒ斥候ノ報告ヲ待ッ

3. 尖兵ノ主力ハ同シク原町田東南端ニ於テ密集遮蔽シテ位置ス

4. 尖兵長ハ後來敵ノ側面ニ向ッテ動作シ本隊ノ戰闘ニ參與スルトキヲ顧慮シ宗保院西方ノ橋梁ヨリ下流約數百米突間ニ於テ境川ノ渡渉場ノ有無ヲ確メ

置ク必要アルヲ以テ下士若クハ上等兵ニ怜悧ナル兵卒二名ヲ付シ此偵察ヲナサシム

第一斥候ハ比較的主力ノ位置ヨリ遠隔シ且ツ坂路多ク地形蔭蔽ノ爲メ交通不便ナリ故ニ他ノ斥候ニ比シ兵力ヲ大ナラシメ多少獨立力ヲ有セシメタリ

第三斥候ハ祥雲寺附近ノ蔭蔽地ヨリ展望ヲ以テ金森村附近ヲ視察シ得ヘク且ツ潜行ニ便ナル爲メ兵力反ツテ少キヲ可トシ高ケ坂村方向ニ於ケル如ク獨立力ヲ有セシムル必要ナカラン危急ニ際シテハ各個ニ潜行シ速ニ尖兵ノ許ニ歸來セハ可ナリ故ニ兵力ハ最少ナラシメタリ

凡ソ軍隊ノ運動ニ必要ナルハ通路ナリ故ニ部隊長ハ常ニ未來ノ運動方向ヲ顧慮シ、間隙アル毎ニ進路ノ偵察ヲナシ置クコト最モ必要ナリ

問　小隊長ハ第一斥候ニ如何ニ命令ヲ下スヤ

答　1. 某軍曹ハ上等兵二名兵卒八名ヲ率ヒ第一斥候トナレ

2. 敵ハ高ケ坂村附近ニ於テ我斥候ヲ驅逐シ北進シタルノ報アリ

3. 高ケ坂村ハ此地ヨリ東北方約千米ニアル村落ナリ

（小隊長ハ現地ヲ指シテ示スナリ）

4. 即チ向フニ見ユル高キ森ノ東方ナリ
5. 彼ノ道路ハ眞直ニ高ケ坂村ニ通スルナリ
6. 汝ハ高ケ坂村附近ニ敵ノ在否ヲ確メ來レ
7. 某上等兵ノ帥ユル第三斥候ハ前方ニ見ユル祥雲寺附近ヲ捜索スル筈ナレハ成シ得レハ互ニ連絡協同セヨ余ハ此地ニアリ

地點ヲ示スハ圖ニ就テ指示スルモ可ナレトモ圖ノ見解拙ナルモノニハ圖ヲ以テ示スモ駄目ナルコト往々アリ故ニ成ルヘクハ現地ヲ指示シ得ル限リ現地ニ就テ示スヲ可トス

問　境川徒渉場偵察ノ任ヲ帶ヒタル下士ハ如何ナル注意ヲ以テ偵察スルヤ

答　土民居レハ之ニ就キテ尋問ス而シテ土民ノ云フ所ハ悉ク信ヲ措ク能ハサルヲ以テ土民ノ指示セル徒渉場ハ之ヲ實際ニ確ムル爲メ土民ヲシテ渡ラシムルカ或ハ已ムヲ得サレハ兵卒ヲシテ徒渉ヲ試マシムヘシ

土民居ラス尋問スヘキモノナキトキハ凡ソ左ノ徴證ニ由テ概略ノ位置ヲ知リ其附近ヲ探檢ス

兩岸上ニ細經ノ水流ト十字又ハ又形ヲ爲スカ又ハ水流頓カニ幅ヲ增シ若クハ川流著シク屈曲セル所ノ近傍及ヒ水面上ノ小波兩岸ニ亘ルトキハ

概ネ淺瀬ナルモノトス

問　第一斥候カ高ケ坂村西南方三叉路ニ達スルヤ敵兵約二分隊計リ高ケ坂村ノ村ノ字附近ヲ密集シテ二列ヲ以テ南進シ別ニ前方ニ警戒兵ヲ出サス頗ル警戒ヲ怠リシモノノ如キ情況ヲ見ル斥候長ハ如何スルヤ

答　斥候ハ今ヤ恰モ高地端ニ達シ人家ト頂界線トヲ利用セハ充分ニ遮蔽シ得ル故此時機コソ無烟火薬ノ利益ヲ發揚セン爲メ能ク敵目ニ遮蔽シテ以テ一齊放火ヲ行ヒ敵ヲ狼狽逃走セシメントス

問　第一斥候カ一齊射撃ヲ行ヒシニ敵ハ不意ニ驚キニ

敵ニ發見セラレス隠蔽シテ微烟火藥ノ利ヲ發揚ス

三ノ即死者及ヒ負傷者ヲ殘シ東方ニ遁走セリ第一斥候長ハ今後如何スルヤ

答　敵ヲ追撃セス何トナレハ元來斥候ノ任務ハ捜索ニアリ然ルニ前面ニ斯ノ如キ優勢ナル敵兵アリテハ到底捜索ノ目的ヲ達スル能ハス故ニ地形ト無烟火藥トノ利ニ依リ敵ノ懈怠ニ乘シ敵ヲ遁走セシムルノミ敢テ爭鬪ノ目的ヲ以テ方便トシテ射撃シタルノミ敢テ爭鬪ノ目的ヲ以テ射撃シタルニ非ラサルヲ以テ今ヤ敵ハ幸ヒニ遁走セリ之ヲ追撃スルノ必要ナシ速ニ目的地ヲ充分ニ捜索セントス

斥候カ元來正當防禦ニアラスシテ自分ヨリ發火スルハ

従來大ニ忌ム所ナリシカ方今無烟火藥採用以來此患ハ大ニ減少シ今ヤ絶對的ニ斥候ハ射撃スヘキモノニ非ラスト云フ能ハス時トシテハ射撃シテ利益アルコトアリ蓋シ有烟火藥ニアリテハ射撃スルヤ否ヤ直ニ敵ヨリ發見セラルレトモ無烟ニ在ッテハ巧ニ地形ヲ利用セハ射撃スルモ決シテ發見セラルルコトナク不意ノ飛彈ハ敵ヲ狼狽逃遁セシムルコトアリ

則チ第一斥候長カ敵ノ警戒ヲ怠リシニ乘シ遮蔽地ヨリ不意ニ射撃ヲ施シタリシハ無烟火藥ニ於テハ一ツノ方法トシテ測ルヘキナリ十名ノ斥候カ二分隊ノ敵ヲ驅逐センニハ斯ノ如キ策ニ由ラサレハ到底衆寡敵セスシテ

爲シ能ハサルナリ敵カ第一斥候ヨリ不意ノ射撃ヲ受ケ散逸シタルハ全ク彼レカ警戒ヲ怠リシ罪ニテ之ニ由テ見ルモ無烟火藥ヲ使用スル今日ニ在テハ捜索警戒ノ必要ナルヲ知ルヘシ

敵ハ恐ラク先キニ我斥候ヲ追撃シタルモノニテ今ヤ追撃ヲ終リ安心シテ逐ニ警戒ヲ怠リ歸途ニ就キアリタルモノナラン

問　敵カ殘置セル死傷ニ就キ何カ處置アリヤ

答　負傷者ニ就テ訊問スヘキコトアリ

問　如何ナルコトヲ訊問スルヤ

答　所屬部隊其部隊ニ連繫スル他ノ部隊

高等司令官ノ姓名、前夜ノ宿營、行軍ノ狀態、將來ノ運動ニ就キテノ命令或ハ風評、糧食彈藥ノ多寡志氣ノ盛衰、給養ノ饒否病傷者ノ衆寡等

問　敵ハ外國人ニシテ言語通セス如何スルヤ

答　捕虜ニ爲シタル敵ノ未タ神思動搖シ靜慮スルノ暇ナキトキニ究問スレハ往々直ニ其實ヲ吐ケトモ心神鎭マリタルトキハ靜慮ヲ以テ虛ヲ吐クコトアリ故ニ現時ハ大切ノ時機ナル故言語通セストモ出來得ル丈ケ手眞似若クハ筆談ニテ訊問ヲ行ヒ次キニ此捕虜ハ指揮官カ敵狀ヲ判斷スルニ好材料ナレハ先ツ小隊長ノ所ニ兵卒ヲ付シテ送附スルナリ

問　第二斥候ハ小隊長ノ許ニ歸來シテ報シテ曰ク敵兵約二十名許リ金森村西方標高80.0ノ附近ニアリ我ヲ見ルヤ射擊セリ斥候ハ更ニ同地點ノ南方約三百米ニ至ル地點迄ヲ視察セシニ他ニ敵兵ヲ見ス又第三斥候モ同時歸來シ報シテ曰ク金森村東方ニ敵兵ヲ見ス、二十分前ニ高ケ坂村高地ニ於テ一齊射擊ヲ聞キシヲ以テ直ニ此銃聲ノ方向ニ至リ確メシニ第一斥候カ約二分隊ノ敵兵ヲ擊退シタルナリシ」

小隊長ハ右ノ報告ヲ得テ處置アリヤ

此第三斥候カ第一斥候ノ發火セシ銃聲ニ就キ之ヲ確メテ小隊長ニ報告セシハ小隊長ノ心中ニ於テハ大ニ有益

ナリシナラン蓋シ高ケ坂村高地ノ銃聲ハ小隊長モ同時ニ聞キ居リシナランナレトモ其源因ヲ知ラス第三斥候ノ報告ニ由ッテ其源因ヲ知リタレハナリ

答　小隊長ハ金森村附近ニアル敵ハ弱勢ナルモノト判定スルヲ以テ今ヨリ直ニ之レヲ攻撃驅逐セントス

問　何レノ方面ヨリ攻撃スルカ

答　本道ノ東北側ハ開豁スルヲ以テ本道ノ西南側天神祠及ヒ森林ニ蔭蔽シテ標高80.0附近ニ迫ラントス

問　散開ハ何レノ點ヨリスルヤ

答　成ルヘク密集シテ蔭蔽地ヲ進ミ最早敵目ヲ免ル能ハサルニ至リテ散開ス蓋シ散開セハ指揮撙握共ニ

不便ナレハナリ

問　左右翼ノ警戒ハ如何ニスルヤ

答　此附近ハ兩翼點ヲ托スヘキ天然ノ障碍物幷ニ又隣隊モナキ故兩翼ニ戰鬪斥候ヲ出シテ警戒ス

問　兩翼ハ何レノ點ニ戰鬪斥候ヲ進マシムルヤ

答　敵カ蔭蔽シテ我ニ近接スルノ憂アル點即チ左翼ハ金森村ノ東北側ヲ監視シ得ヘク又右翼ハ天神祠(南方ノ分)南方ヲ監視シ得ヘキ點ニ各斥候ヲ進マシムル

問　小隊ヲ散開スルニハ同時ニ全力ヲ散開スルヤ或ハ一二分隊ノ豫備隊ヲ設クルヤ

答　同時ニ散開スルナリ凡ソ一部ヲ散開シ一部ヲ豫備トスルハ中隊以上ノ兵力アッテ始メテ爲シ得ヘキモノニシテ僅ニ小隊許リノ兵力ニテ豫備隊ヲ設クル能ハス若シ強テ之ヲ備ヘントセハ所謂小部隊逐次ノ増加、兵力個々ノ使用トナリ戰術上最モ忌ムヘキコトナリ

操典ニ示セル「最初ノ散開ニハ兵力ヲ節約シ云々」ノ原則ニ拘泥シ形式的ニ小隊計リノ小兵力ニテモ豫備ヲ設ケ兵力ヲ減少シッッ逐次ニ用ユルノ傾キアルヲ間々實見スル所ナリ是レ原則ニ拘泥シテ其本ヲ誤ルモノト云フヘシ

抑モ操典ニ示スハ中隊以上ノコトナリ然ルヲ僅ニ一小隊許リノ兵力中一二分隊ヲ存シテ豫備トナスモ何ノ効カアラン逐次小部隊ノ使用ハ集團力ニ由テ利ヲ占ムル能ハス害アルモ益ナシ

情況

小隊長ハ全兵力ヲ散開シ標高80.0附近ニ於テ劇シク敵トセリ對戰

第一斥候ハ高ケ坂村ニ於テ敵ヲ擊退シタル後其附近ヲ捜索シ別ニ異狀ナク今ヤ祥雲寺東方高地端ニ來ルヤ西方約八百米ニ於テ劇シク銃聲ノ起ルヲ聞ク高地端ヨリ

展望セントスルモ樹木ノ爲メ遮蔽セラレテ何ニモ見ル能ハス

問　第一斥候長ハ如何スルヤ

答　第一斥候長ハ多分金森村西方ニ於テ自分ノ屬スル小隊カ開戰シタルナラント思意スルヲ以テ直ニ戰闘ニ參與スル目的ヲ以テ銃聲ノ方向ニ急進スルナリ

問　第一斥候長ハ祥雲寺南方ニ於テ我左翼ノ戰闘斥候ニ會シ小隊ハ標高80.0附近ニ於テ戰闘セルヲ知リ同時ニ敵ノ戰闘斥候ラシキモノ金森村中央三叉路ノ東方ニ現ハルルヲ見ル

問　第一斥候長ハ如何スルヤ

答　今現ハレタル戰闘斥候ヲ驅逐シ側面ヨリ小隊ニ聲援セントス

情況

第一斥候カ敵ノ戰闘斥候ヲ擊退スルヤ敵ハ全線退却ヲ始メ小隊ハ射擊ヲ以テ猛烈ニ追擊シ遂ニ敵ハ多クノ損害ヲ受ケ金森村部落ニ蔽ハレテ東南方ニ敗退セリ

鵜野森村方向ニ當ッテハ二三十分前ヨリ劇烈ナル銃聲ヲ聞ク

先キニ境川偵察ニ派遣セル下士ハ歸來シテ左ノ報告ヲナス

地形偵察ノ報告ヲ

偵察斤候

宗保院西方橋梁ヨリ天神祠(南方ノ分)西南方橋梁ニ至ル間徒渉場ナシ

敵ノ稍々有力ナル斤候ハ宗保院西方約五百米ニアル無名寺附近ニ出没ス

境川右岸ノ水田ハ跋渉シ難シ

問　小隊長ハ如何スルヤ

答　有力ナル下士斤候ヲ以テ退却セル敵ヲ追躡シ其退却方向ヲ確メ直ニ本隊ノ戰闘ニ參與ス

凡ソ敵カ退却スルトキハ直ニ其退却方向及ヒ敵カ再ヒ停止スルヤ否ヤヲ確ムル爲メ追躡斤候ヲ出スハ甚タ緊要ノ事トス

第一ノ任務ヲ果シ第二ノ任務ニ赴ク

問　何故ニ退却セル敵ニ尾シテ追撃ヲナササルヤ

答　小隊ハ當面ノ敵ト飽クマテ決戰スルノ任務ナシ速ニ當面ノ敵ヲ撃退シテ本隊ヲシテ左側ノ顧慮ナカラシメ以テ本戰ニ參與スルヲ必要トス今ヤ幸ニ敵ハ我ヨリ劣勢ニシテ敗退セリ若シ敵カ敗退ニ至ラス隊伍ヲ整ヘテ隨意退却ヲナセシナラハ更ニ引返シ來ルノ患アレトモ多クノ損害ヲ以テ敗退シタル敵カ隊伍ヲ整ヘ更ニ攻撃シ來ルコトハ容易ナラス且ツ今ヤ原町田中央ヨリ宗保院ヲ經テ西方ニ通スル道路ハ何時敵カ進ミ來ルヤ知レス本隊ノ爲メニ此道路ヲ警戒シツツ敵ノ側面ニ動作スルハ最モ目

下ノ情況ニ於テ有利ナルノミナラス我任務ヲ果ス
ニ至當ナル動作ナリ

問　然ラハ今ヨリ小隊ハ何レノ點ニ向ッテ運動スルヤ

答　此地ヨリ眞直ニ敵ノ右側ニ向ッテ進メハ迅速ニシ
テ可ナレトモ中間ニ境川ヲ徒渉セサレハ能ハス然
ルニ報告ニヨレハ境川ニ徒渉場ナキヲ以テ是レ到
底望ムヘカラス天神祠(南方ノ分)西南ノ橋梁ヨリ進
マンカ著シク迂路ナリ目下迅速ヲ要スルノ時機ニ
於テ迂路ノ爲メ時間ヲ費スハ得策ニ非ラス然ラハ
宗保院附近ヨリ進マンカ西方高地端ニ若干ノ敵兵
アルトキハ橋梁及ヒ跋渉スヘカラサル水田中ニ通
スル一條ノ隘路ヲ敵火ノ下ニ於テ通過セサルヘカ
ラス然レトモ此不利ハ一考スヘキ所ニシテ如何ニ
モ宗保院西方ノ隘路ヲ敵火ノ下ニテ通過セント欲
セハ不利此上ナキノミナラス敵ノ兵力ニ由テハ通
過シ能ハサルヤモ知レサレトモ目下ハ先ッ此附近
ニ向ッテ進ムヲ得策トス何トナレハ敵カ若シ高地
端ニアリテ我隘路通過ヲ妨クレハ我ハ敢テ之ヲ通
過セサルモ宗保院附近ニ在テ隘路ヲ監視セハ本隊
ノ左側ハ安全ニシテ本隊ハ著シク利益ヲ得レハナ
リ而シテ若シ著シク敵ノ妨害ヲ受ケス隘路ヲ西方
ニ向ッテ進出シ得タル場合ニハ殊ニ利益大ナリ

問　小隊長ハ意見ノ如ク實行シ宗保院附近ニ至ルニハ如何ナル隊形ヲ以スルヤ

答　目下假令ヒ退却シタル敵ト雖北方ニ進マンニハ後方ニ敵ヲ控ユル譯ナルヲ以テ前後ニ警戒ヲ要ス而シテ後方ニハ追蹤斥候モ派遣シアルコトナレハ此方面ノ警戒ハ單簡ニテ可ナルヘク卽チ左ノ區畧ヲ以テ進マシトス

行進路ハ境川右岸ノ高地ニ對シテ遮蔽スル如ク境川左岸ニ於ケル雜樹林、杉林、松林等ヲ利用シテ其東側ニ沿ヒ宗保院ニ向ツテ進ムナリ

前方ニハ一分隊ノ尖兵ヲ出ス

尖兵射撃ヲ受ク

後方ニハ三名ヨリ成ル斥候ヲ本隊ノ後尾ヨリ二百米隔テテ跟隨セシム

左右側ニハ小斥候ヲ派遣ス卽チ左側ノモノハ境川ニ沿フテ進マシメ右側ノモノハ標高80.0ヨリ原町田村ニ通スル道路ヲ進マシム

問　一分隊ノ尖兵カ宗保院西方ノ獨立家屋ノ處ニ達シタルトキ其西方高地端ヨリ七八名ノ一齊射撃ヲ受ケタリ分隊長ハ如何スルヤ

答　獨立家屋ニ蔭蔽シテ前方ヲ視察ス

問　分隊長カ視察スルニ西方高地端ノ無名寺附近ニ約十名許リノ敵兵カ横隊ヲ作リアルヲ認ムルニ至レハ如何

兵カ少シニテモ身體ヲ現ハセハ直ニ射撃スルナリ

答　分隊長ハ如何スルヤ

此情況ヲ小隊長ニ報告ス

問　如何ニ報告スルヤ

答　傳令卒ヲシテ口頭ニ由テ左ノ如ク報告セシム

小隊長殿、尖兵ノ報告

約十名ノ敵兵ハ宗保院西方約五百米ニアル無名寺ノ點ニアリ我ニ向ッテ射撃ス

尖兵ハ宗保院西方獨立家屋ノ處ニ在ッテ敵ヲ視察シツツアリ

終リ

報告ニハ敵狀幷ニ報告者カ現在動作シツツアル件或ハ將サニ施サントスル件ヲ報告スルコト緊要ナリ

問　小隊長ハ先キニ銃聲ヲ聞クヤ尖兵ノ處ニ急行シツツアル途中右ノ報告ヲ受領ス小隊長ハ如何スルヤ

答　先ッ尖兵ノ處ニ至リ小隊ハ地物ニ蔭蔽シテ位置セシメ敵狀ヲ視察シタル後尖兵ヲシテ射撃セシメ續テ本隊ヲ增加シ射撃ヲ以テ此敵ヲ驅逐センコトヲ勉ム

問　敵ハ我小隊ノ散開スルヲ見ルヤ急射撃ヲナシテ退却ス小隊長ハ如何スルヤ

答　直ニ併合ヲ行ヒ前方ニ斥候ヲ派遣ス

散開部隊ハ指揮ニモ撙握ニモ密集隊ニ比スレハ不便ナリ故ニ情況之ヲ許セハ常ニ密集セシメテ之ヲ撙握シアルヲ可トス且ツ敵ハ退却セルヲ以テ前方ニ派遣セル斥候ノ報告ニ由テ異狀ナキヲ知レハ直ニ隘路ヲ通過センガ爲メ併合ヲ行フタリ

問　此斥候ハ前方高地ニ達シ異狀ナキノ記號ヲナス小隊長ハ如何スルヤ

答　直ニ併合シタル部隊ヲ以テ隘路ヲ進出ス

問　何故ニ斥候カ異狀ナキノ報告ヲ待ツテ隘路ヲ進出スルヤ敵カ退却スルト同時ニ進出シテハ不可ナルヤ

答　敵カ退却スルトテモ此附近ハ既ニ敵ノ主力所在地ニ近キ故輕忽ニ隘路中ニ入ルトキハ忽チ敵ノ逆襲ニ逢フノ患アルヲ以テ先ツ速ニ前方ノ地區ヲ確メタル後進出セシムルヲ可トス

問　然ラハ隘路ヲ進出スルトキハ常ニ敵ノ退却ニ尾續シテ進ムノ戰法ハ實行シ能ハサル如ク思ハレルナリ果シテ如何

答　是レ時機ニ關スルナリ假令ハ敵カ退却スルニ當リ距離ヲ存スルコトナク直ニ敵背ニ接スル如ク銃劍ヲ奮ツテ尾擊シ得ルトキニ於テハ新ナル敵カ出現スルモ彼我接觸シアル爲メ友軍ヲ傷クルヲ慮リ此

敵カ我ヲ射撃シ能ハサル如キ場合ニ於テハ直ニ敵ニ尾行シテ隘路ヲ通過スルヲ利アリトスルナリ

情況

小隊ハ斯ノ如クシテ遂ニ目的ノ如ク敵ノ右側ニ迫ツテ本戰ニ參與シ爰ニ鵜野森村東北方附近ノ地帶ハ彈丸雨飛鮮血ハ地ヲ洗ツテ境川ニ注キ流水爲メニ紅流ト變スルノ劇戰ヲ見ルニ至レリ

以下戰鬪駐軍等ハ篇ヲ追フテ述フル所アルヘシ

明治三十四年十月廿二日印刷
明治三十四年十月廿五日發行

著述者　雲外庵

陸軍省御用圖書發行所

發行兼印刷者　相澤富藏
東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地

發行所　厚生堂
東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地
電話本局(八三八)
發電略號(ア〇コ)

著作權所有

新刊書目

陸軍歩兵大佐渡邊祺十郎君著

改正第二版 應用野外要務及戰鬪

雲外庵著

全壹冊 上製正價金三十錢 並製正價金二十五錢 郵稅金四錢

夢城士著

小部隊之戰術

全壹冊 正價金二十錢 郵稅金四錢

野外演習 各個分隊小隊 教練

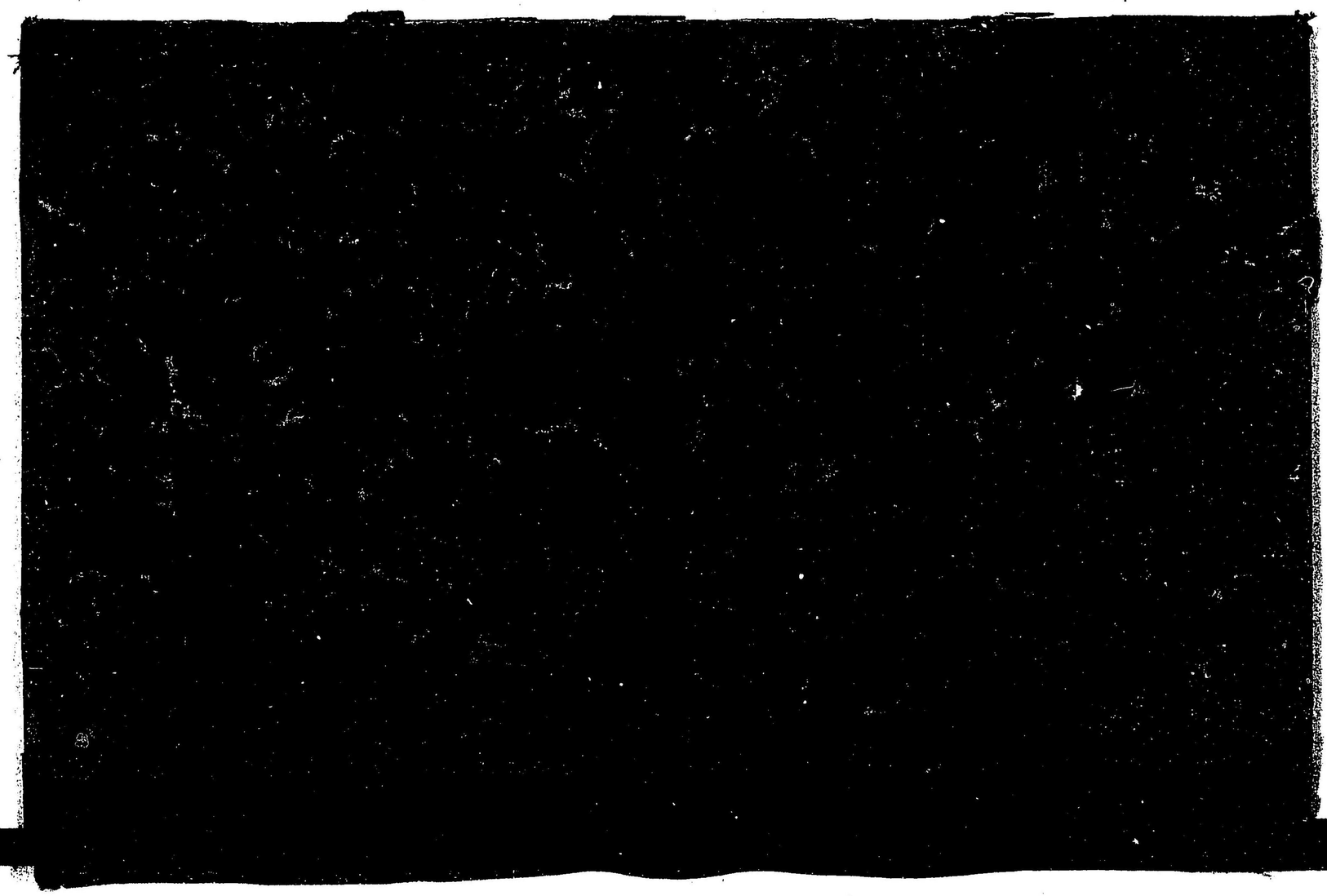
全壹冊 訂正增補 正價金二十錢 郵稅金四錢

小隊長乃決心

全壹冊 正價金十五錢 郵稅金二錢

方今戰術ノ書多シト雖モ眞ニ其練習ヲ懇切ニ說キタル者少ナシ 右四書ハ著者カ教官ノ職ニ當リ周到綿密ニ其ノ原則ト應用トヲ詳述シタルモノヲリ故ニ前後待テ戰鬪研究ノ資料トシテ裨補スル所蓋鮮少ナラズ 戰客幸ニ一閱其眞價ヲ知リ給ハンコトヲ乞フ

29
308

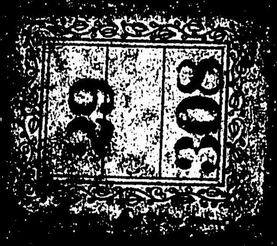


051845-000-2

29-308

小部隊之戰術

雲外庵／著

M34

BFB-0718